

# 大刀洗町人口ビジョン

福岡県大刀洗町

# 大刀洗町人口ビジョン

## 目次

### 大刀洗町人口ビジョン

(1) 大刀洗町人口ビジョンの位置づけ	1
(2) 大刀洗町人口ビジョンの対象期間	1
(3) 大刀洗町人口の現状分析と将来予測	2
1) 人口動態(要因)分析	2
2) 将来人口	15
3) 大刀洗町の将来人口の維持・増加への課題	18
(4) 人口の変化が地域の将来に与える影響	21
1) 暮らし・地域社会	21
2) 産業・人材	25
3) 医療福祉・社会保障	26
4) 子育て・教育	27
5) 行政・財政	31
(5) 目指すべき方向性	32
1) 住民の意識調査	32
2) 人口動態の将来展望	35
3) 目指すべき将来の方向性	37

## 大刀洗町人口ビジョン

### （1）大刀洗町人口ビジョンの位置づけ

大刀洗町人口ビジョンは、まち・ひと・しごと創生法に基づき策定する「大刀洗よかまち創生プロジェクト」の効果的な施策を企画立案するための重要な基礎として位置づける。

大刀洗町の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する基本認識の共有を図り、取り組むべき将来の方向を示す長期的な人口ビジョンとして策定する。

### （2）大刀洗町人口ビジョンの対象期間

大刀洗町人口ビジョンの対象期間は、2060（令和42）年までとする。

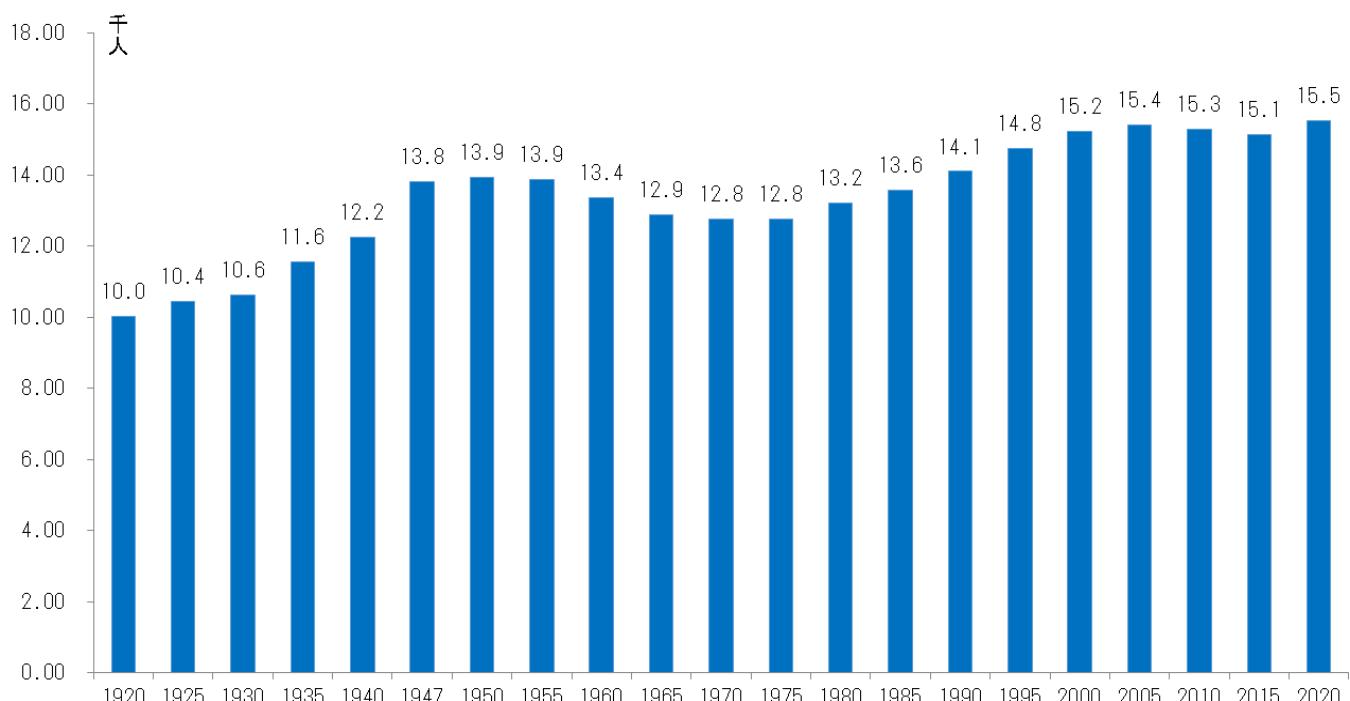
### （3）大刀洗町人口の現状分析と将来予測

#### 1) 人口動態（要因）分析

##### a) 総人口、年度末人口の推移

・大刀洗町の総人口（国勢調査人口）は、1970（昭和45）年から2005（平成17）年は一貫して増加してきたが、2010（平成22年）、2015（平成27年）は人口減少となった。  
しかし、直近の2020（令和2）年は、再び増加に転じ、過去最高の人口となっている。

＜総人口の推移＞

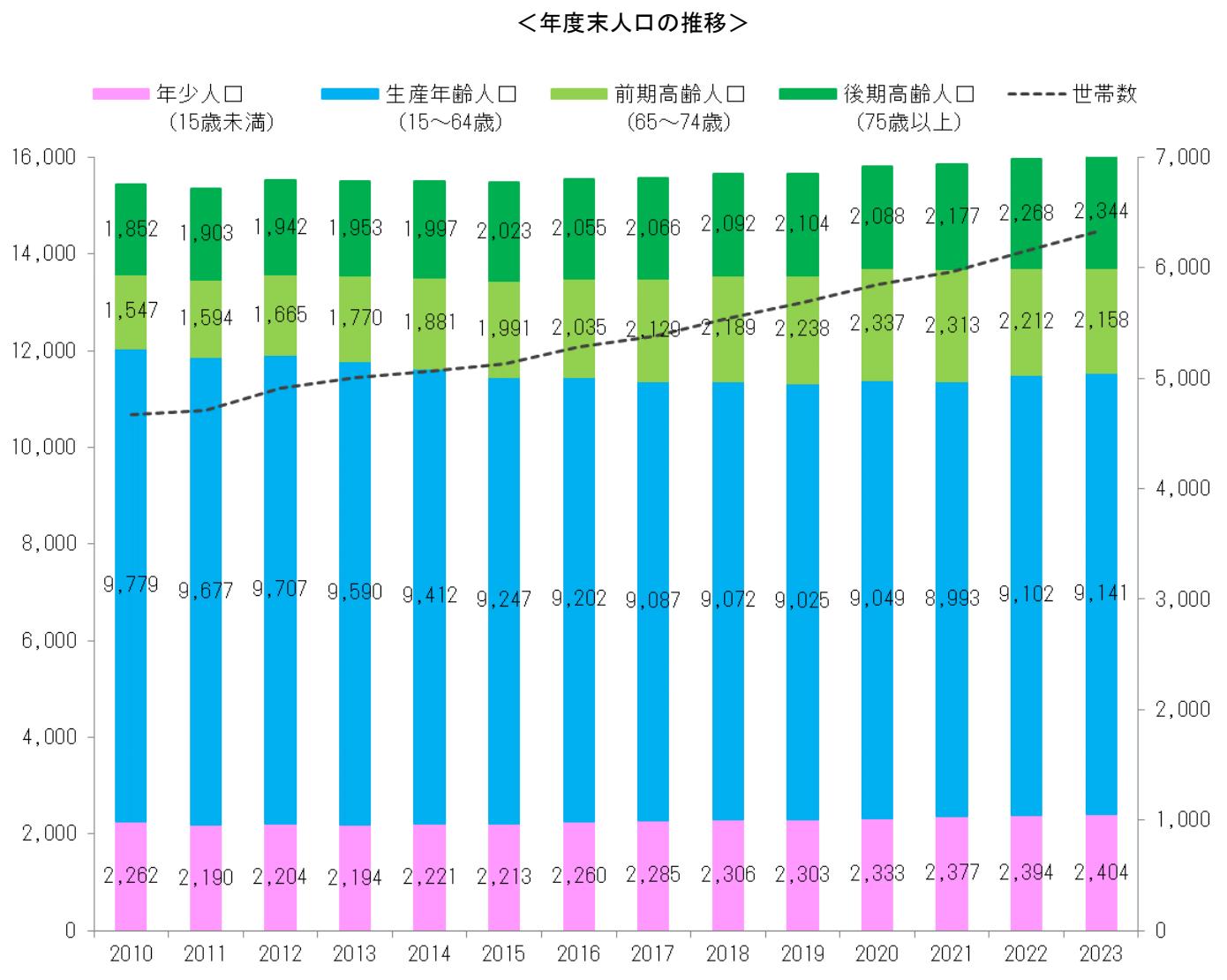


（単位：千人）

	1920年	1925年	1930年	1935年	1940年	1947年	1950年	1955年	1960年	1965年
総数	10.0	10.4	10.6	11.6	12.2	13.8	13.9	13.9	13.4	12.9
	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
総数	12.8	12.8	13.2	13.6	14.1	14.8	15.2	15.4	15.3	15.1
	2020年									
総数		15.5								

（出典）総務省「国勢調査」

・住民基本台帳による近年の年度末人口の推移を見ると、人口、世帯数ともに増加傾向にある。



※2012（平成24）年から外国人もカウントしている。

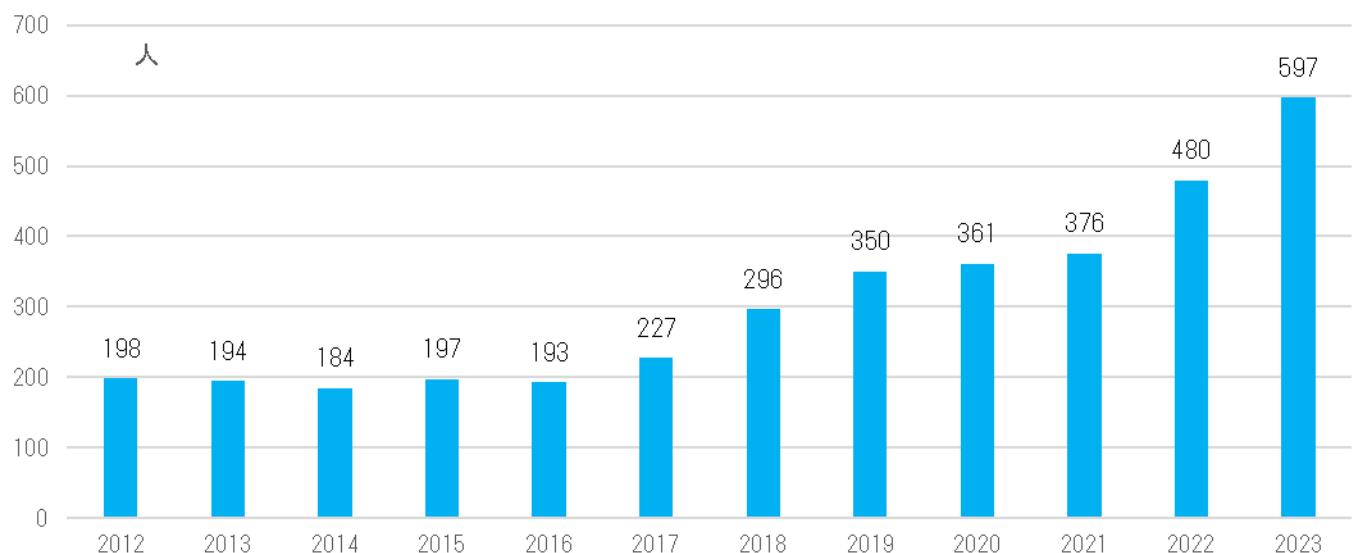
（単位：人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
年少人口 (15歳未満)	2,262	2,190	2,204	2,194	2,221	2,213	2,260	2,285	2,306	2,303	2,333	2,377	2,394	2,404
生産年齢人口 (15~64歳)	9,779	9,677	9,707	9,590	9,412	9,247	9,202	9,087	9,072	9,025	9,049	8,993	9,102	9,141
前期高齢人口 (65~74歳)	1,547	1,594	1,665	1,770	1,881	1,991	2,035	2,129	2,189	2,238	2,337	2,313	2,212	2,158
後期高齢人口 (75歳以上)	1,852	1,903	1,942	1,953	1,997	2,023	2,055	2,066	2,092	2,104	2,088	2,177	2,268	2,344
合計	15,440	15,364	15,518	15,507	15,511	15,474	15,552	15,567	15,659	15,670	15,807	15,860	15,976	16,047
世帯数	4,670	4,707	4,909	5,003	5,061	5,135	5,287	5,377	5,541	5,683	5,854	5,965	6,157	6,334

（出典）大刀洗町「住民基本台帳」

- ・2012（平成 24）年 7 月から外国人も住民基本台帳でカウントしており、その推移をみると、増加傾向にある。

＜年度末　外国人人口の推移＞



（単位：人）

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
外国人人口	198	194	184	197	193	227	296

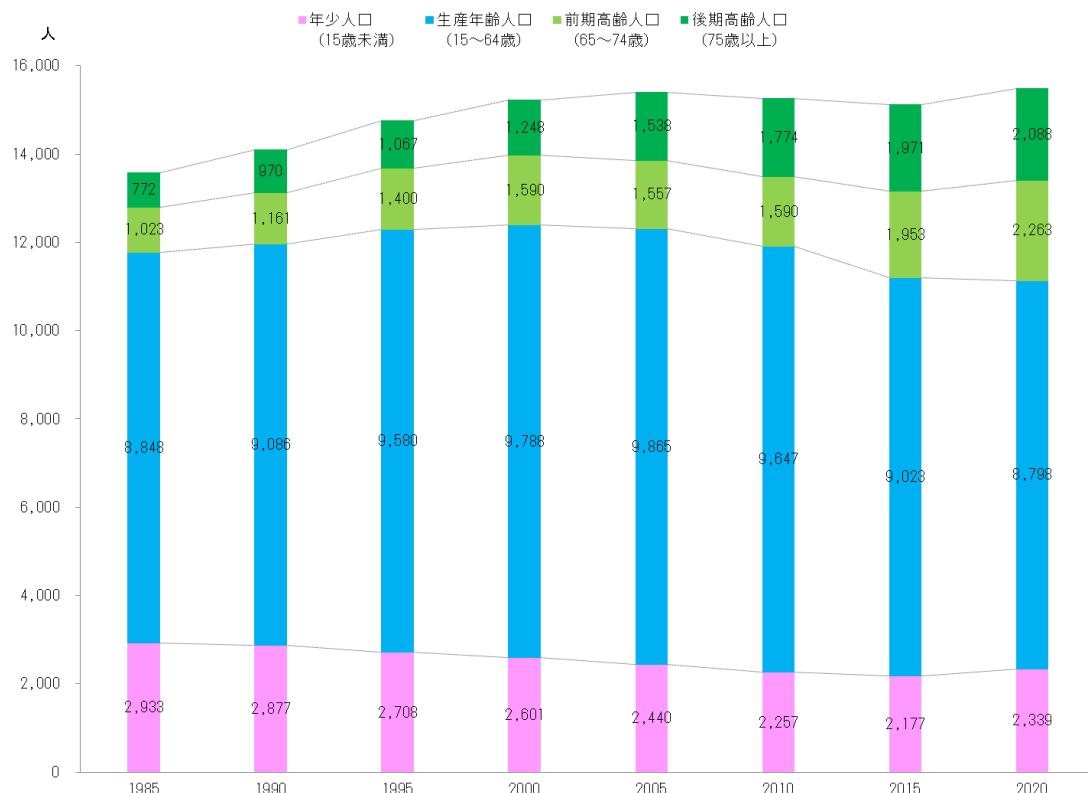
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
外国人人口	350	361	376	480	597

（出典）大刀洗町「住民基本台帳」

### b) 年齢4区分別人口の推移

- ・年少人口は減少が続いているが、2020（令和2）年は増加に転じている。老人人口は増加が続いている、とりわけ、75歳以上の後期高齢人口の伸びが大きく、1985（昭和60）年から2020（令和2）年にかけて、前期高齢者は2.2倍なのに対し、後期高齢者は2.7倍となっている。
- ・生産年齢人口は2005（平成17）年にピークを迎え、その後、減少に転じている。

＜年齢4区分別人口の推移（実数）＞



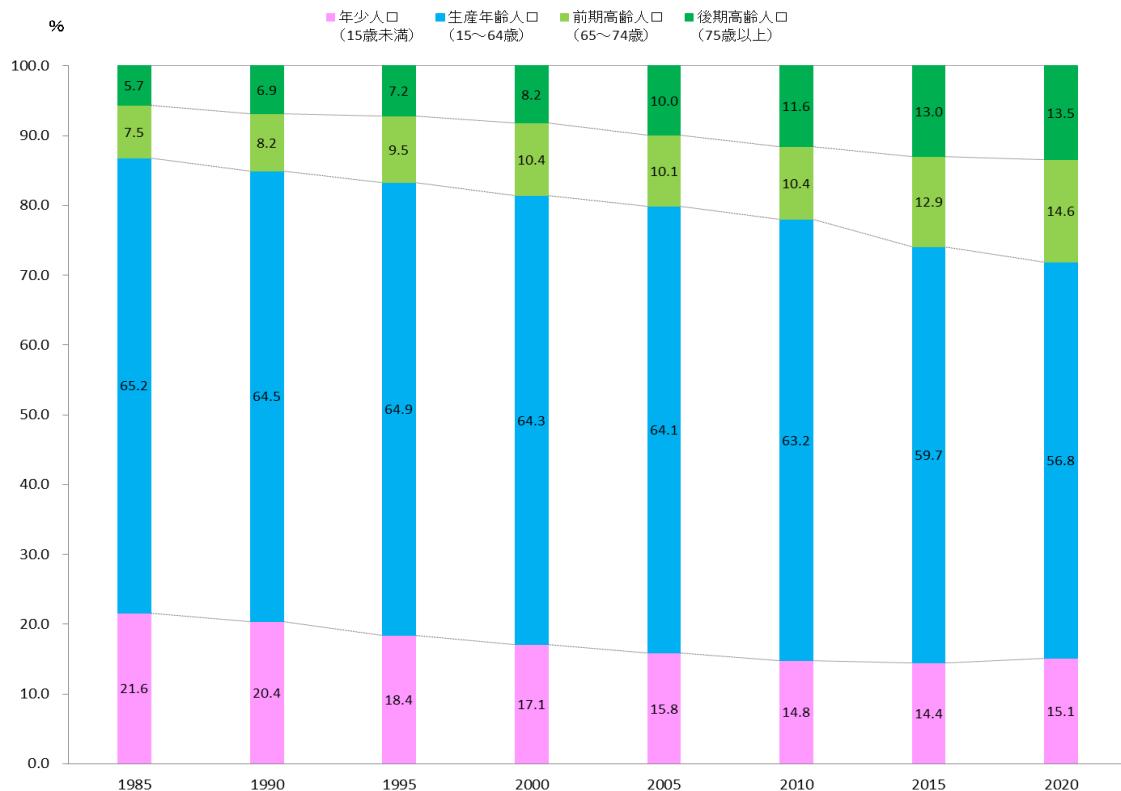
（単位：人）

	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
年少人口 (15歳未満)	2,933	2,877	2,708	2,601	2,440	2,257	2,177	2,339
生産年齢人口 (15~64歳)	8,848	9,086	9,580	9,788	9,865	9,647	9,023	8,798
前期高齢人口 (65~74歳)	1,023	1,161	1,400	1,590	1,557	1,590	1,953	2,263
後期高齢人口 (75歳以上)	772	970	1,067	1,248	1,538	1,774	1,971	2,088
合計	13,576	14,098	14,755	15,227	15,400	15,284	15,138	15,521

※年齢4区分別の人口には年齢不詳を含まないため、合計と一致しない調査年次がある。

（出典）総務省「国勢調査」

### ＜年齢4区分別人口の推移（割合）＞



（単位：%）

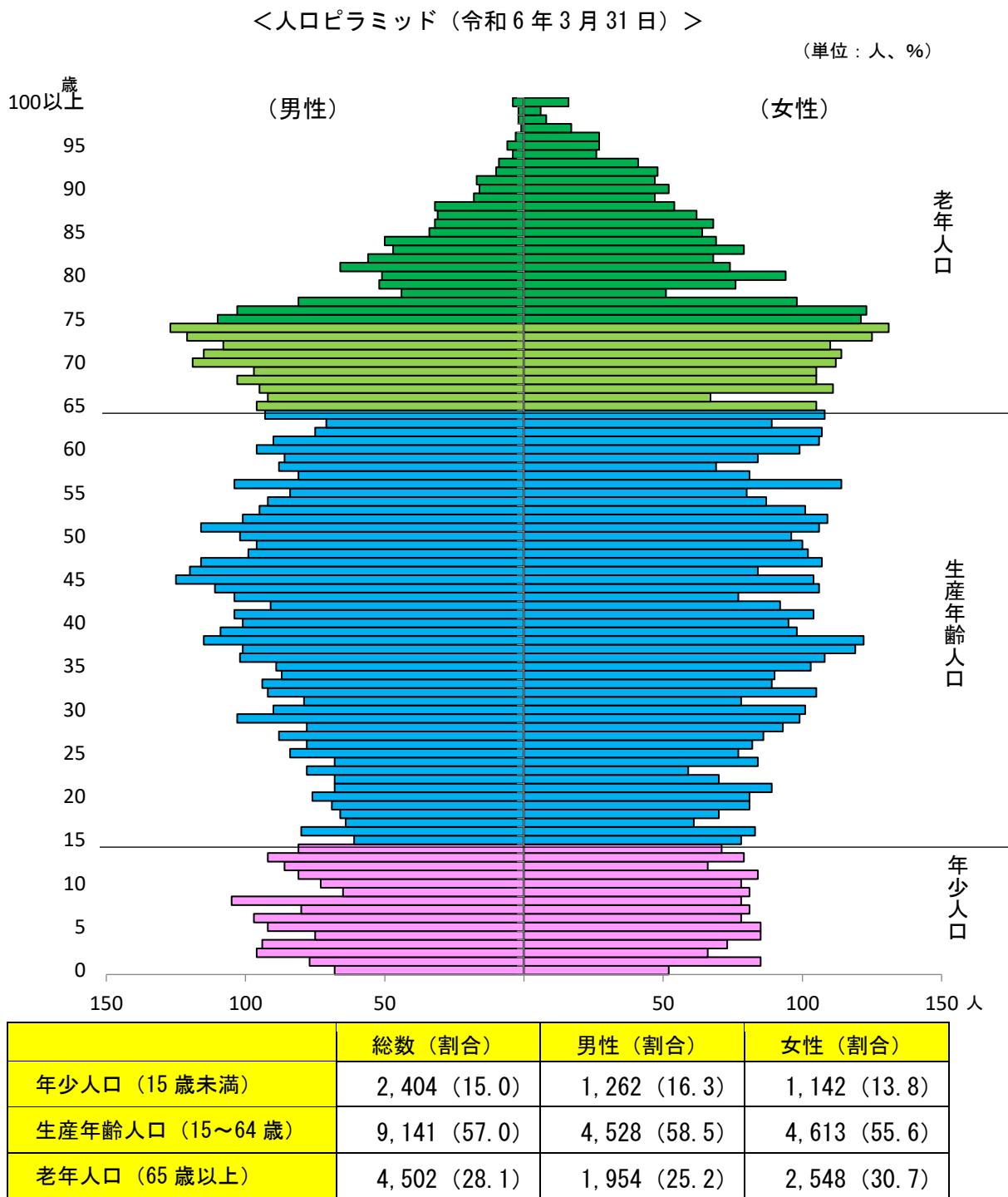
	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
年少人口 (15歳未満)	21.6	20.4	18.4	17.1	15.8	14.8	14.4	15.1
生産年齢人口 (15~64歳)	65.2	64.5	64.9	64.3	64.1	63.2	59.7	56.8
前期高齢人口 (65~74歳)	7.5	8.2	9.5	10.4	10.1	10.4	12.9	14.6
後期高齢人口 (75歳以上)	5.7	6.9	7.2	8.2	10.0	11.6	13.0	13.5
合計	100	100	100	100	100	100	100	100

※分母は年齢不詳を除く計

（出典） 総務省「国勢調査」

### c) 男女別年齢別人口の特徴

- ・大刀洗町の人口ピラミッドは「つりがね型」に近く、他市町村と同様、進学及び就職段階での流出などにより生産年齢人口が少なくなっている。また、高齢化率が 28%と高齢化も進んでおり、団塊の世代が全て後期高齢者となる 2025（令和 7）年には、少子高齢化がより深刻化することが見込まれる。

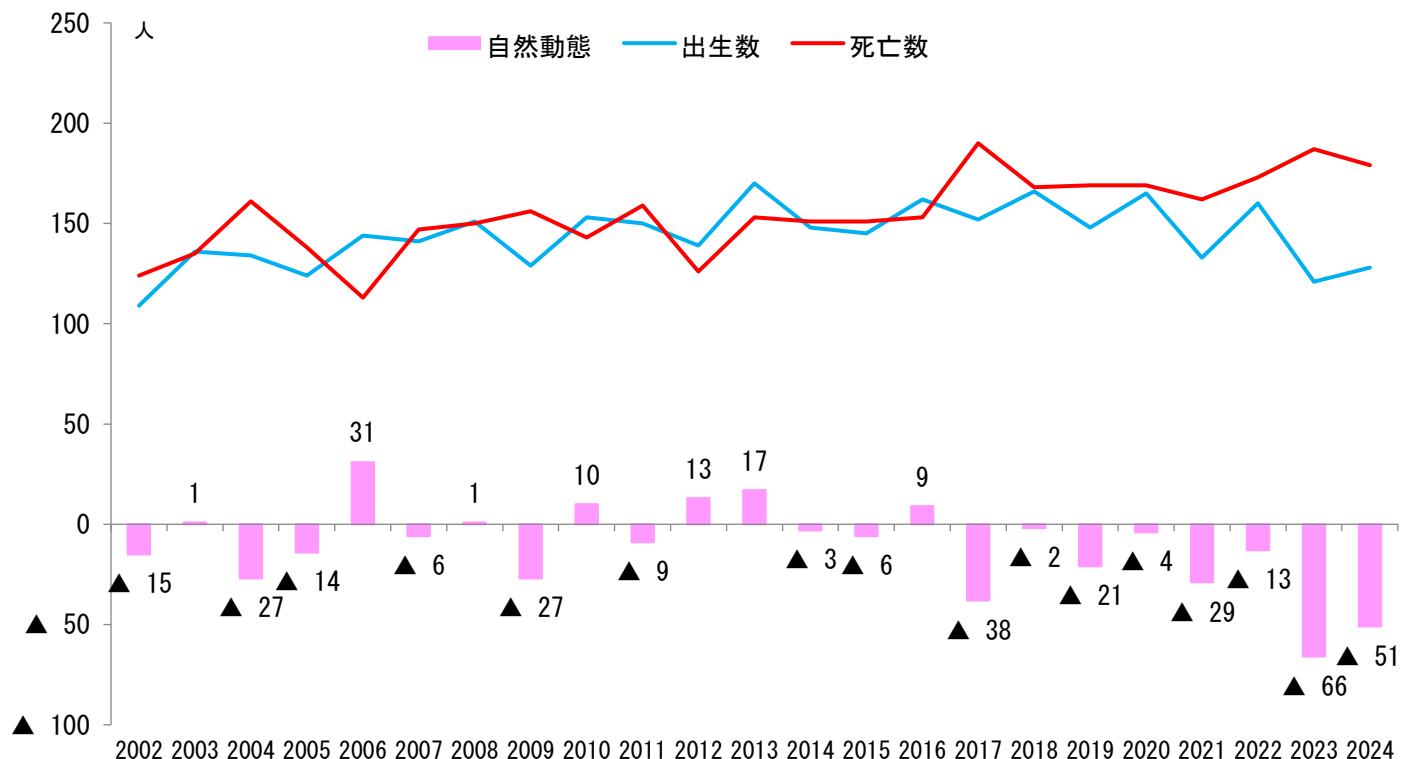


#### d) 自然増減の推移

・出生数はおおむね 150 人程度で推移していたが、直近の 2 年は 120 人程度となっている。

死亡数は近年増加傾向にあり、2017（平成 29）年以降は、死亡数の増加にともない、自然動態はマイナスが続いている。

＜自然増減（出産・死亡、自然動態）の推移＞



（単位：人）

	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年
自然動態	▲ 15	1	▲ 27	▲ 14	31	▲ 6	1	▲ 27	10	▲ 9	▲ 6	▲ 38
出生数	109	136	134	124	144	141	151	129	153	150	139	170
死亡数	124	135	161	138	113	147	150	156	143	159	126	153

	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
自然動態	▲ 3	▲ 33	9	▲ 38	▲ 2	▲ 21	▲ 4	▲ 29	▲ 13	▲ 66	▲ 51
出生数	148	145	162	152	166	148	165	133	160	121	128
死亡数	151	178	153	190	168	169	169	162	173	187	179

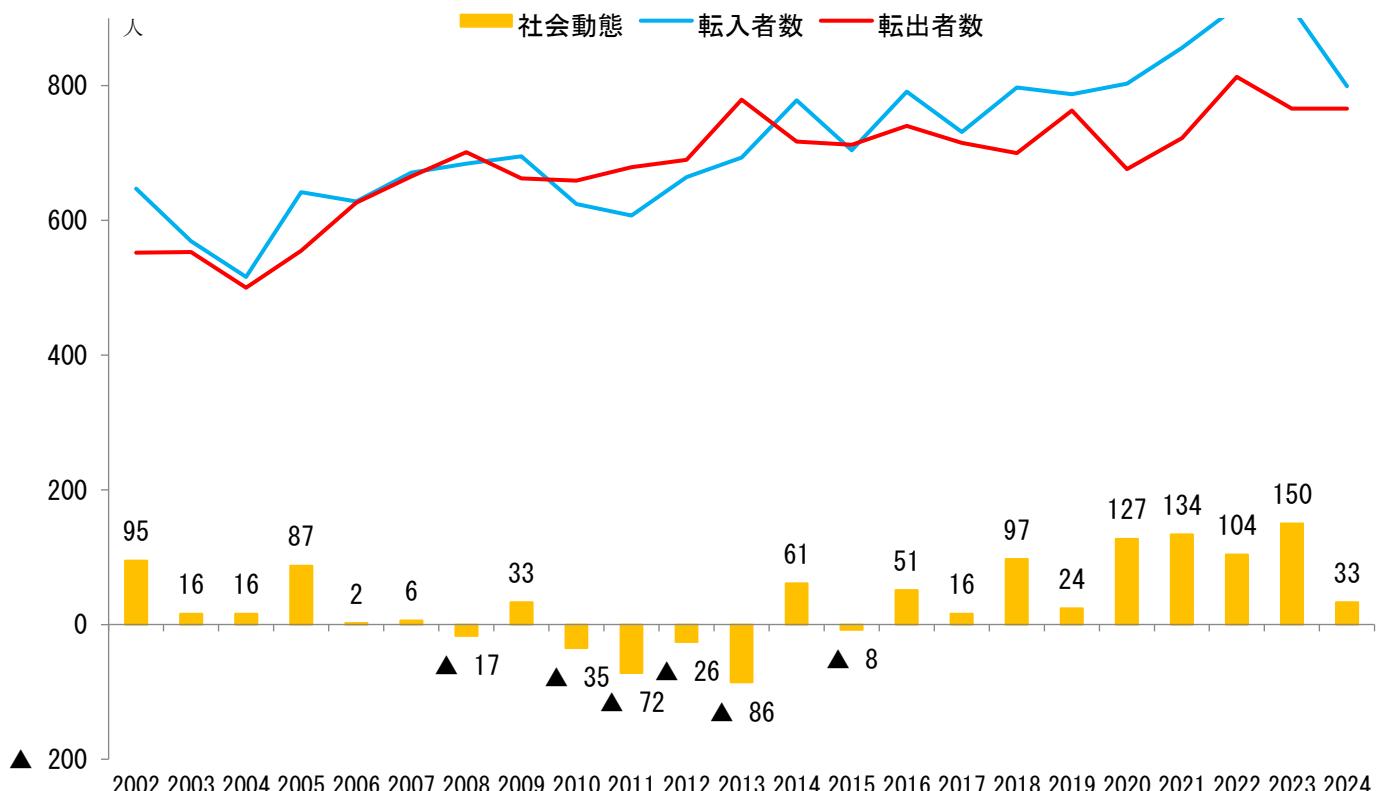
※各年度、前年 10 月～当年 9 月までを集計

（出典）大刀洗町「住民基本台帳」

### e) 社会増減の推移

- ・2002（平成14）年以降、転入超過の傾向であったが、2010（平成20）年から転出超過の状況が続いた。
- ・第1期地方創生計画期間である2016（平成28）年からは、再び転入超過が続いている。

＜社会増減（転入・転出、社会動態）の推移＞



（単位：人）

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
社会動態	95	16	16	87	2	6	▲ 17	33	▲ 35	▲ 72	▲ 26	▲ 86
転入者数	647	569	516	642	628	671	684	695	624	607	664	693
転出者数	552	553	500	555	626	665	701	662	659	679	690	779

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
社会動態	61	▲ 8	51	16	97	24	127	134	104	150	33
転入者数	778	704	791	731	797	787	803	856	917	916	799
転出者数	717	712	740	715	700	763	676	722	813	766	766

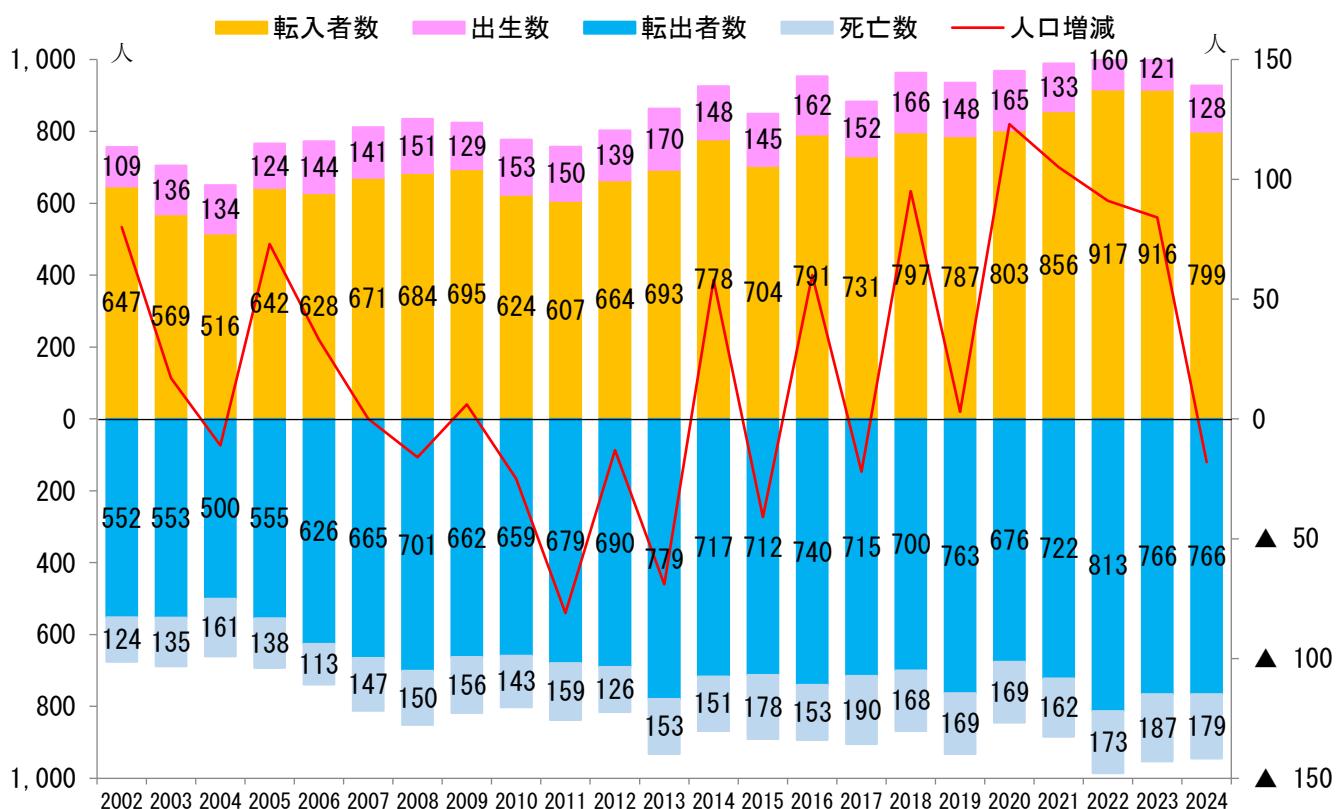
※各年度、前年10月～当年9月までを集計

（出典）大刀洗町「住民基本台帳」

### f ) 人口増減の推移

- ・2010（平成 22）年以降、各年の人口増減の幅は大きかったが、近年は緩やかに変化している。
- ・人口増減の要因となる 4 つの要素のうち、自然増減（出生、死亡）よりも社会増減（転入、転出）の方が大きな影響力を有している。

＜人口増減（出産、死亡、転出入）の推移＞



（単位：人）

	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年
人口増減	80	17	▲ 11	73	33	0	▲ 16	6	▲ 25	▲ 81	▲ 13	▲ 69
転入者数	647	569	516	642	628	671	684	695	624	607	664	693
出生数	109	136	134	124	144	141	151	129	153	150	139	170
転出者数	552	553	500	555	626	665	701	662	659	679	679	779
死亡数	124	135	161	138	113	147	150	156	156	143	159	153

	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
人口増減	58	▲ 41	60	▲ 22	95	3	123	105	91	84	▲ 18
転入者数	778	704	791	731	797	787	803	856	917	916	799
出生数	148	145	162	152	166	148	165	133	160	121	128
転出者数	717	712	740	715	700	763	676	722	813	766	766
死亡数	151	178	153	190	168	169	169	162	173	187	179

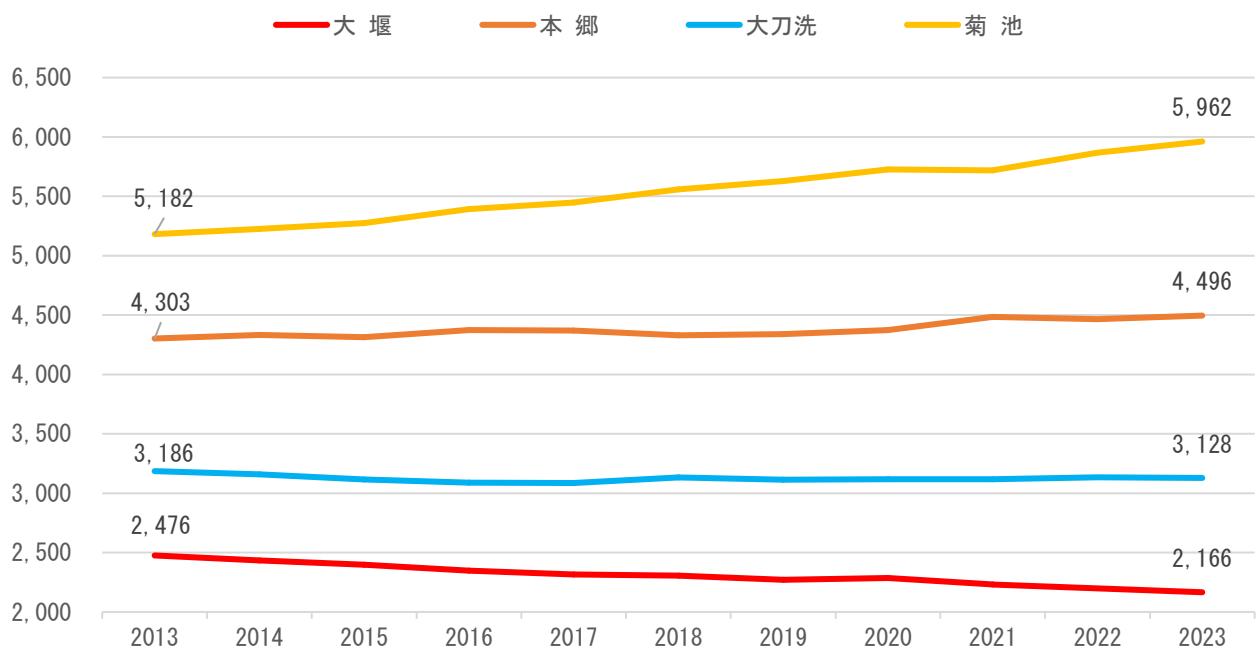
※各年度、前年 10 月～当年 9 月までを集計

（出典）大刀洗町「住民基本台帳」

### g) 校区別の推移

- 町内には 4 つの校区があるが、校区によって人口にはらつきがみられ、本郷と菊池校区は増加傾向、大刀洗校区は微増傾向にあるが大堰校区は減少傾向にある。

＜校区別年度末人口の推移＞



(単位：人)

	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
大堰	2,476	2,434	2,398	2,348	2,316	2,306	2,271	2,286	2,232	2,200	2,166
本郷	4,303	4,333	4,314	4,374	4,370	4,330	4,340	4,374	4,485	4,467	4,496
大刀洗	3,186	3,159	3,116	3,089	3,086	3,133	3,114	3,118	3,118	3,133	3,128
菊池	5,182	5,226	5,275	5,393	5,448	5,559	5,629	5,727	5,719	5,867	5,962

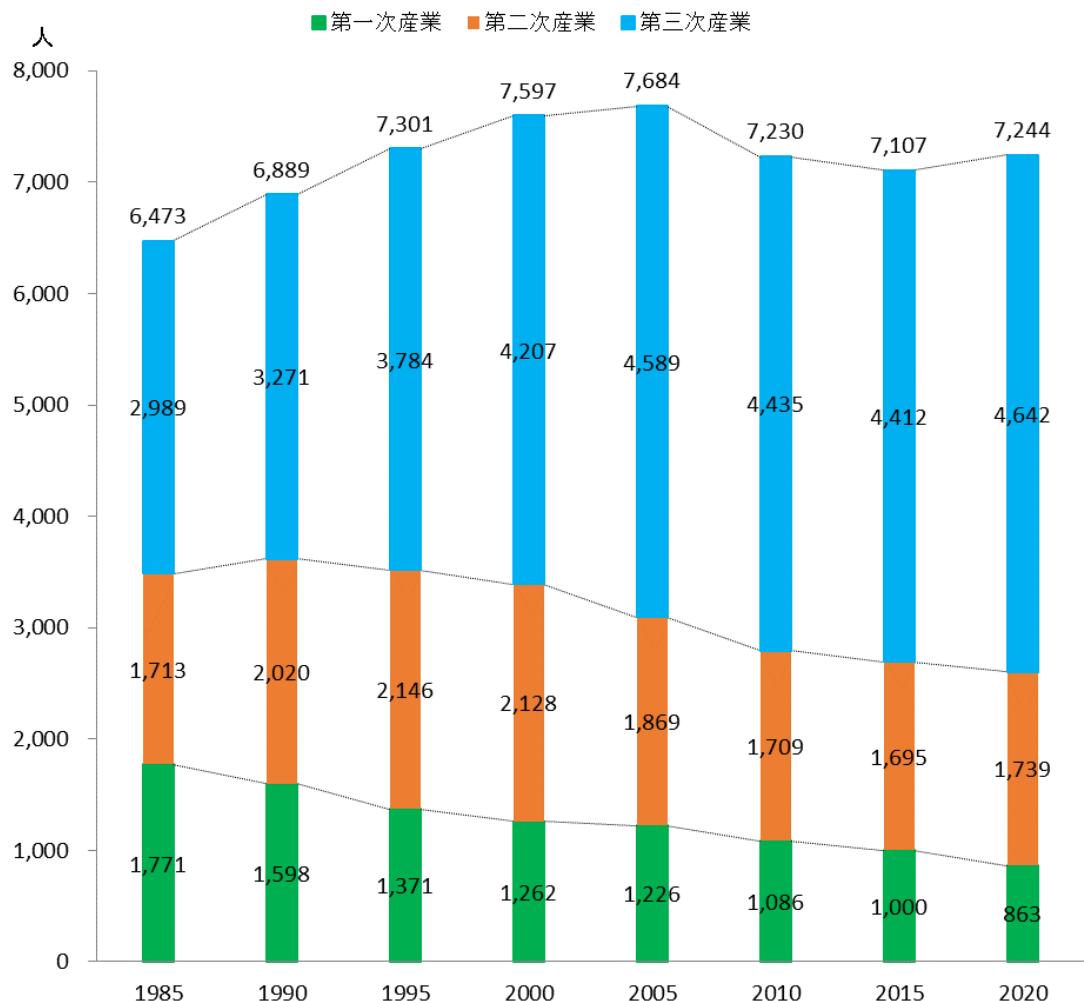
(出典) 大刀洗町「住民基本台帳」 ※施設入居者等を除いているため総人口の合計と一致しない。

### h) 産業別就業人口

- ・1985（昭和 60）年から 2020（令和 2）年までに、第一次産業の就業人口が減少し、第三次産業の就業人口が増加している。第一次産業の就業者が 900 人程度減少し、第三次産業の就業者は 1,650 人程度増加しており、他市町村同様、産業のサービス化が進んでいる。

＜産業別人口の推移＞

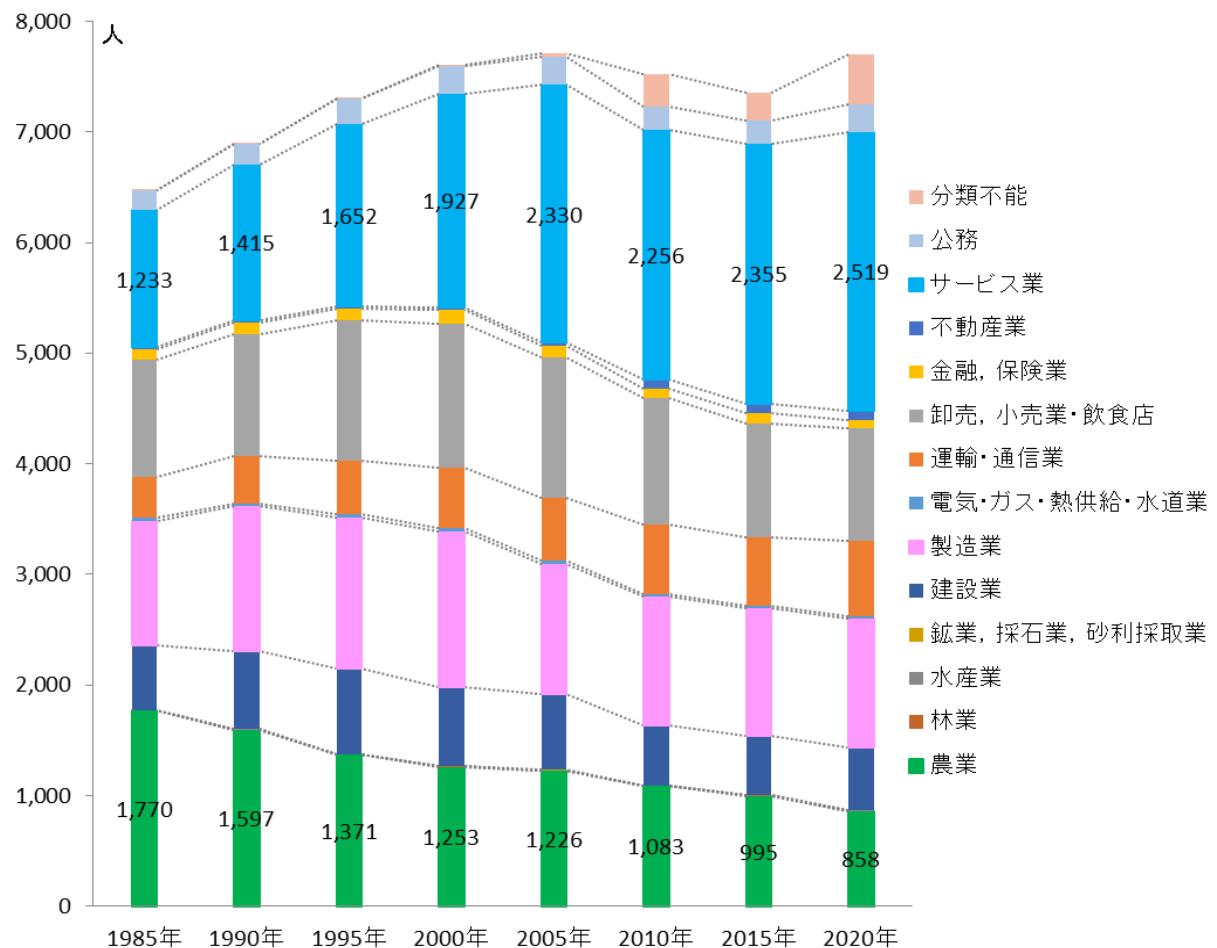
（単位：人）



	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2010 年	2015 年	2020 年
第一次産業	1,771	1,598	1,371	1,262	1,226	1,086	1,000	863
第二次産業	1,713	2,020	2,146	2,128	1,869	1,709	1,695	1,739
第三次産業	2,989	3,271	3,784	4,207	4,589	4,435	4,412	4,642
合計	6,473	6,889	7,301	7,597	7,684	7,230	7,107	7,244

（出典）総務省「国勢調査」

### ＜産業別就業人口の推移＞



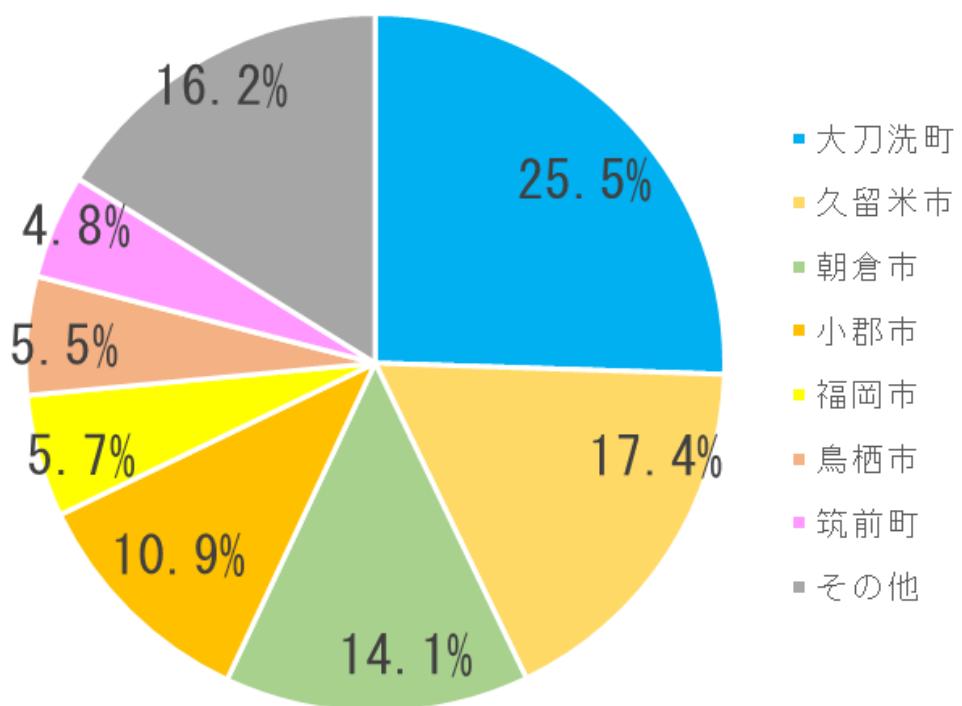
	(単位: 人)								
	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	
農業	1,770	1,597	1,371	1,253	1,226	1,083	995	858	
林業	1	0	0	9	0	3	5	3	
水産業	0	1	0	0	0	0	0	2	
鉱業, 採石業, 砂利採取業	3	2	4	6	4	0	1	0	
建設業	583	704	773	712	689	544	536	575	
製造業	1,127	1,314	1,369	1,410	1,176	1,165	1,158	1,164	
電気・ガス・熱供給・水道業	26	21	25	32	24	22	16	18	
運輸・通信業	375	428	480	538	571	637	621	678	
卸売, 小売業・飲食店	1,053	1,100	1,273	1,303	1,270	1,139	1,035	1,019	
金融, 保険業	101	104	106	124	101	84	89	77	
不動産業	17	22	21	27	32	83	84	86	
サービス業	1,233	1,415	1,652	1,927	2,330	2,256	2,355	2,519	
公務	184	181	227	256	261	214	212	245	
分類不能	3	4	3	7	23	290	246	457	

(出典) 総務省「国勢調査」

### i )就業者の通勤先

- ・大刀洗町に常住する就業数の約7割が町外に勤務している。就業先の市町村をみると約2割が福岡市及び久留米市などの都市圏に通勤している。
- ・大刀洗町は町外への通勤者が多く、ベッドタウン型の性格を有している。

＜町内常住就業者の就業先市町村＞



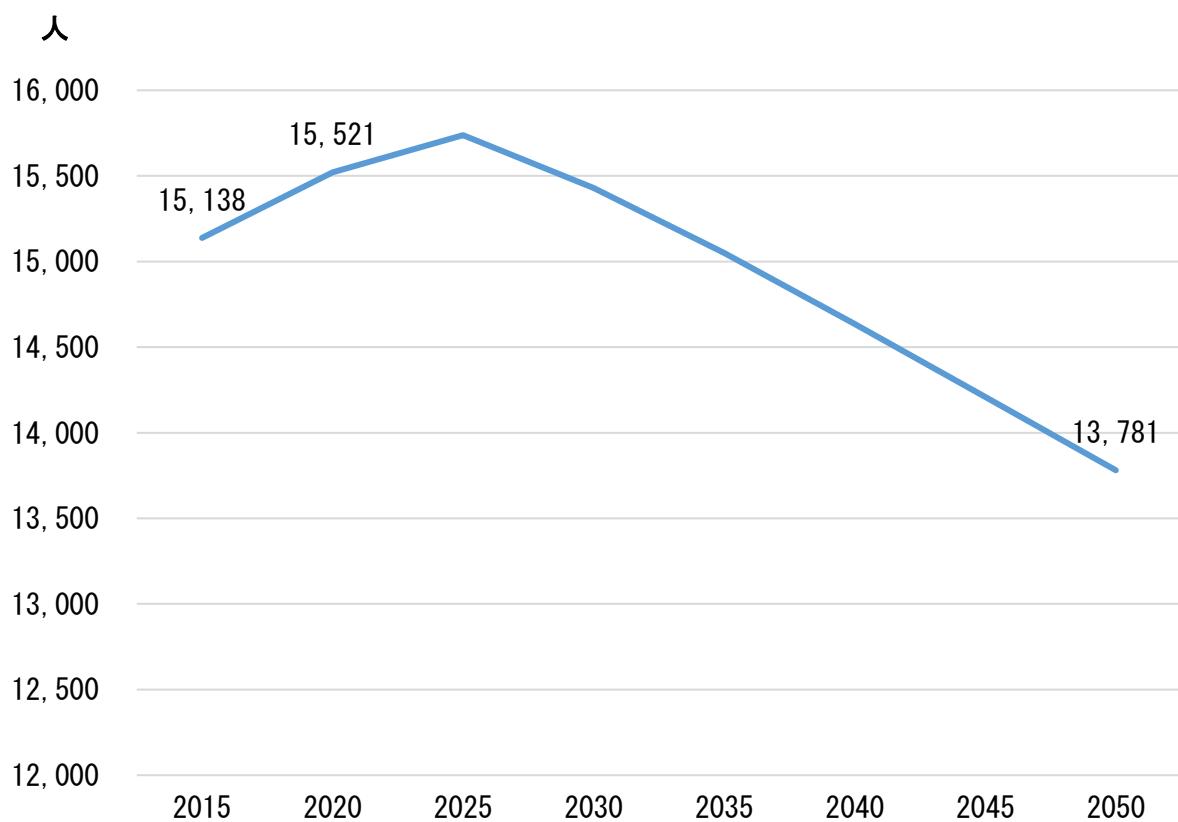
(出典) 総務省「国勢調査」 2020（令和2）年

## 2) 将来人口

### a) 将来人口の推計

- ・国立社会保障・人口問題研究所では、令和2(2020)年国勢調査の確定数を出発点とする「日本の地域別将来推計人口（令和5年）」をまとめ、令和5(2023)年12月22日にその結果を公表した。
- ・2020（令和2）年の人口と比較して2050（令和32）年に約1,700人減の13,781人と推計されている。

＜将来人口推計の比較＞



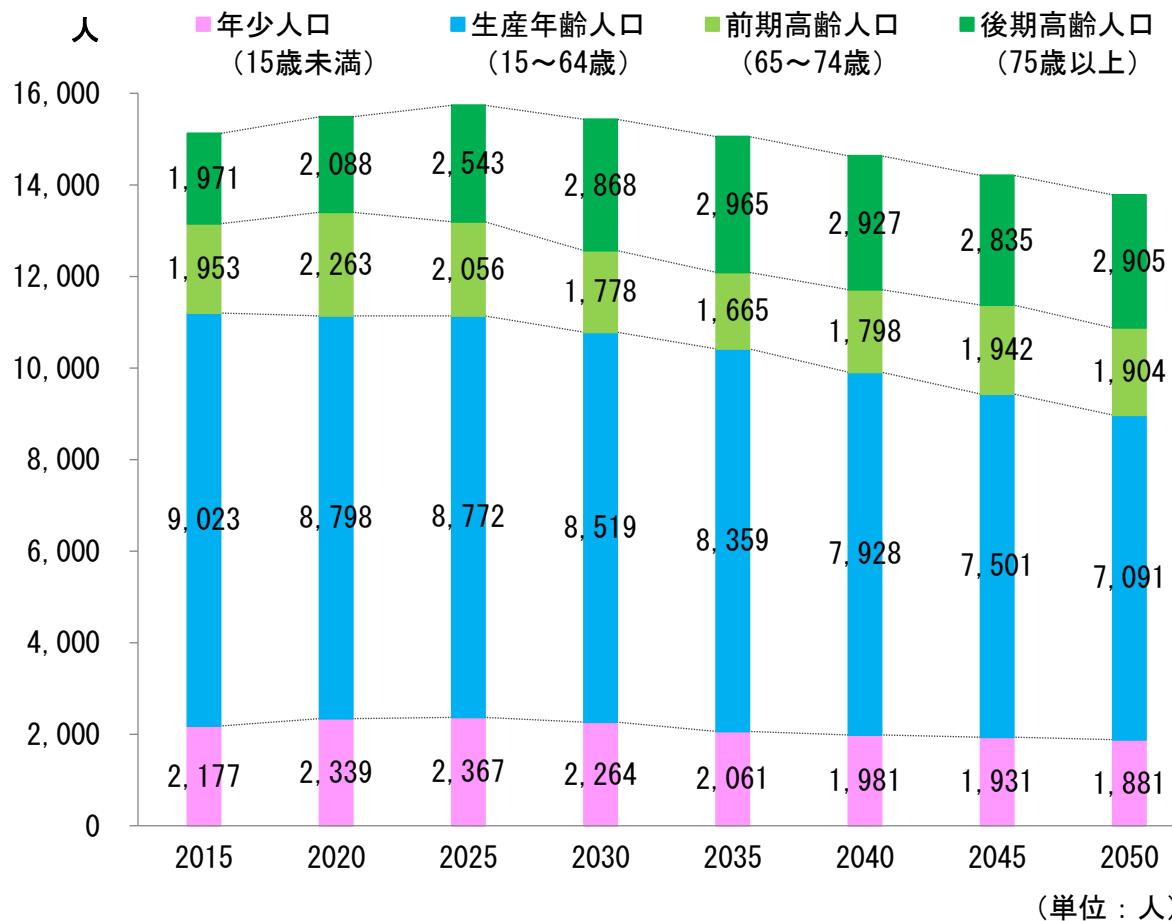
（出典）2020（令和2）年以前は、総務省「国勢調査」の実績値

2025（令和7）年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値

### b) 年齢4区分別人口の推計

- ・年少人口と生産年齢人口は一貫して減少が続く一方、老人人口は 2050（令和 32）年まで増加が見込まれる。

＜年齢4区分別人口の将来推計（実数）＞



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
年少人口 (15歳未満)	2,177	2,339	2,367	2,264	2,061	1,981	1,931	1,881
生産年齢人口 (15~64歳)	9,023	8,798	8,772	8,519	8,359	7,928	7,501	7,091
前期高齢人口 (65~74歳)	1,953	2,263	2,056	1,778	1,665	1,798	1,942	1,904
後期高齢人口 (75歳以上)	1,971	2,088	2,543	2,868	2,965	2,927	2,835	2,905
合計	15,138	15,521	15,738	15,429	15,050	14,634	14,209	13,781

（出典）2020（令和2）年以前は、総務省「国勢調査」の実績値

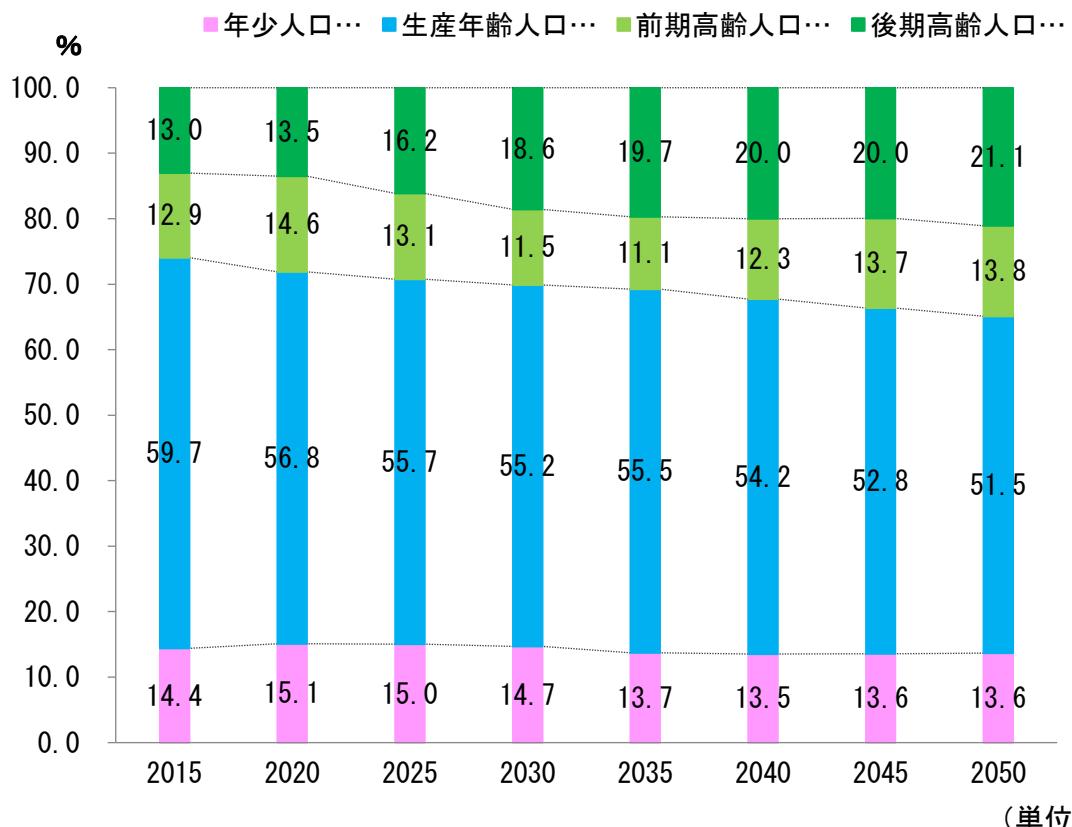
※年齢不詳の人口がいるため、4区分人口の計と一致しない。

2025（令和7）年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値

・高齢化率は2020（令和2）年からの30年間で6.8ポイント増加し、2050（令和32）年には34.9%まで上昇することが見込まれる。

・また、2050（令和32）年には、生産年齢人口が総人口の半数となる見込みである。

＜年齢4区分別人口の将来推計（割合）＞



（単位：%）

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
年少人口 (15歳未満)	14.4	15.1	15.0	14.7	13.7	13.5	13.6	13.6
生産年齢人口 (15~64歳)	59.7	56.8	55.7	55.2	55.5	54.2	52.8	51.5
前期高齢人口 (65~74歳)	12.9	14.6	13.1	11.5	11.1	12.3	13.7	13.8
後期高齢人口 (75歳以上)	13.0	13.5	16.2	18.6	19.7	20.0	20.0	21.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

（出典）2020（令和2）年以前は、総務省「国勢調査」の実績値

※年齢不詳をのぞく計による構成比。四捨五入の関係で合計が100にならない箇所がある。

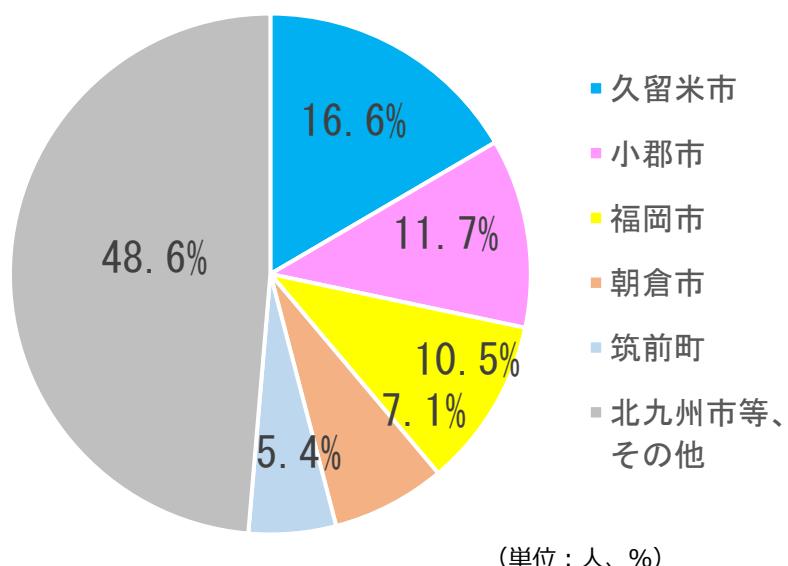
2025（令和7年）年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値

### 3) 大刀洗町の将来人口の維持・増加への課題

#### a) 県内他市町村への転出抑制（大刀洗町⇒他市町村）

- ・大刀洗町からの転出者は、とくに隣接する久留米市や小郡市が多く、次いで福岡市となり、本町よりも買い物施設や交通移動手段等が整っており生活利便性が比較的高い地域へ移動している。
- ・転出を抑制するためには、住民ニーズに沿った生活利便性を高めていくとともに、都市圏とは違った、本町ならではの生活の豊かさ等の魅力を発信していく必要がある。

＜転出先の地域別構成比＞



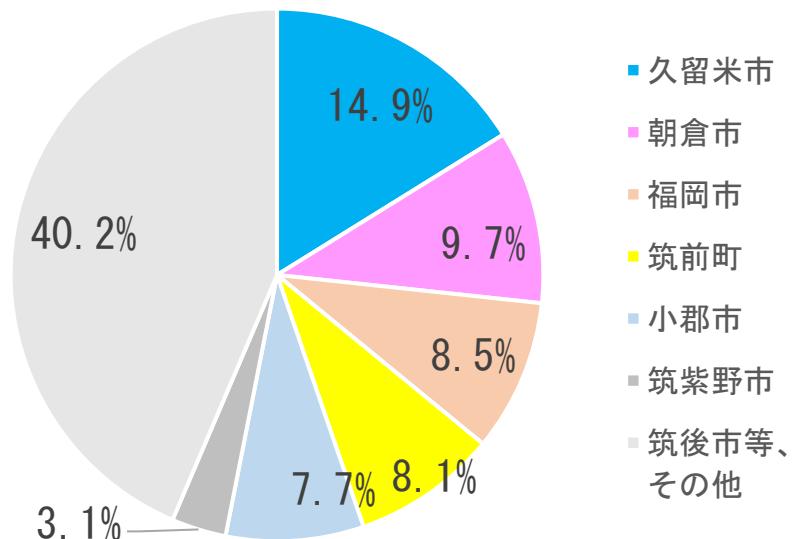
順位	自治体名	転出数	割合
1	久留米市	110	16.6%
2	小郡市	78	11.7%
3	福岡市	70	10.5%
4	朝倉市	47	7.1%
4	筑前町	36	5.4%
6	北九州市	22	3.3%
7	鳥栖市	17	2.6%
8	筑紫野市	16	2.4%
9	大野城市	13	2.0%
10	その他	255	38.4%

（出典）リーサス：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

b) 圏域外からの転入促進（他市町村⇒大刀洗町）

- ・大刀洗町への転入者は、とくに隣接する久留米市や朝倉市が多く、転入転出ともに久留米圏域のからの人口移動が社会増減に大きな影響を及ぼしていることがわかる。
- ・久留米圏域全体の人口が減少すれば、大刀洗町の人口流入の勢いも低下することが考えられる。したがって、定住環境の充実はもちろん、久留米圏域が一体となって圏域外の大都市圏からの移住を活性化させていく必要がある。

＜転入先の地域別構成比＞



(単位：人、%)

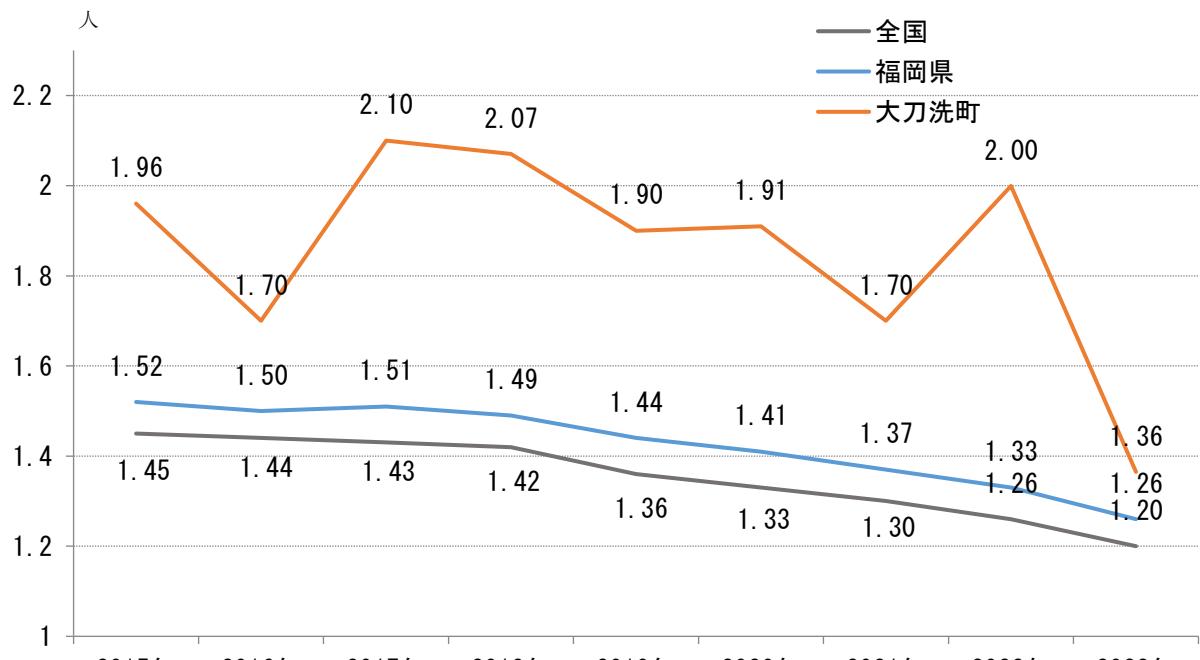
順位	自治体名	転出数	割合
1	久留米市	112	14.9%
2	朝倉市	73	9.7%
3	福岡市	64	8.5%
4	筑前町	61	8.1%
5	小都市	58	7.7%
6	筑紫野市	23	3.1%
7	北九州市	21	2.8%
8	つくば市	17	2.3%
9	筑後市	14	1.9%
10	飯塚市	13	1.7%
11	その他	237	31.6%

(出典) リーサス：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

### c) 出生数増加

- ・合計特殊出生率は、全国平均と県平均を大きく上回っていたが、2023年は低下している。
- ・出生数も、150人程度で推移しているため町の子どもの数は増加している。

＜合計特殊出生率の推移＞



(出典) 大刀洗町

#### （4）人口の変化が地域の将来に与える影響

##### 1) 暮らし・地域社会

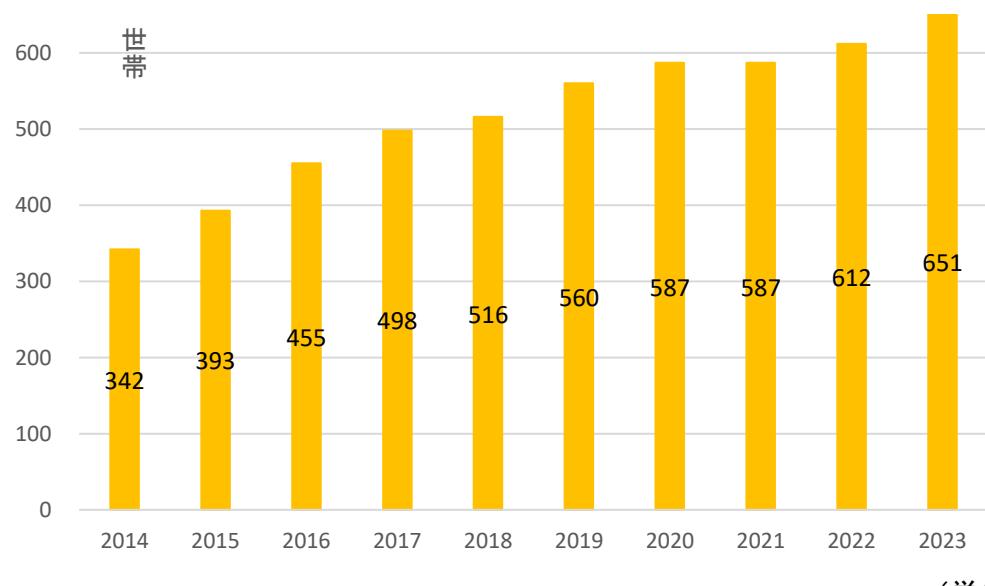
###### a) 生活関連サービス（小売・飲食・娯楽・医療機関等）の縮小

- ・人口の減少は、民間利便施設の撤退、生活関連サービスの縮小に繋がり、結果として住民の利便性を損なうこととなる。そして、生活利便性の低下が人口の減少に拍車をかけることとなり、負のスパイラルに陥る可能性がある。
- ・各民間利便施設の立地条件は、商圈人口規模で想定される。大刀洗町の場合、近隣市町村にて各生活関連サービスを享受しているケースが多いため、近隣市町村の人口減少にともなう民間利便施設の撤退は、住民の生活に直結する問題となりうる。

###### b) 地域コミュニティの機能低下

- ・自治会や町内会といった住民組織の担い手が不足し共助機能が低下するほか、地域住民によって構成される消防団の団員数の減少など、地域の防災力を低下させる懸念がある。さらに若年層の減少が進むことで、地域の歴史や伝統文化の継承を困難にし、地域の祭りのような伝統行事が継続できなくなる恐れがある。住民の地域活動が縮小することによって、住民同士の交流の機会が減少し、地域のにぎわいや地域への愛着が失われていく可能性がある。
- ・高齢化の進展に伴い、地域における高齢者独居世帯（＝65歳以上の独り暮らし）の増加がみられるため、日頃から地域コミュニティとの関わりや繋がりを築き、独居高齢者の孤立を防ぐ必要がある。

＜高齢者独居世帯の推移＞



（単位：世帯）

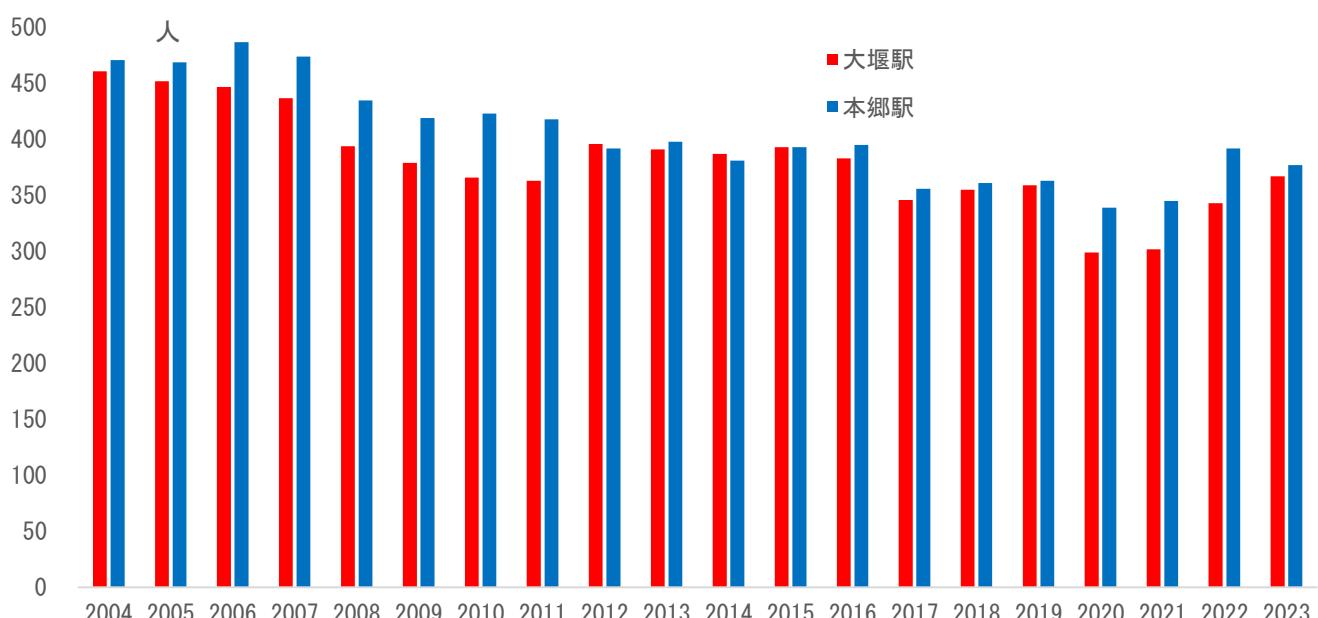
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
高齢者独居世帯 (65歳以上)	342	393	455	498	516	560	587	587	612	651

（出典）大刀洗町社会福祉協議会

### c )公共交通空白地の発生と対策

- ・町内には鉄道路線が2本貫通し、鉄道駅が3駅ある。バスについても、路線バスのバス停が2つ、高速バスのバス停が1つある。
- ・主な利用者である通勤・通学人口の減少や新型コロナウイルスの影響等により減少傾向であったが、2020年以降は回復傾向にある。利用者数の減少が進むと運行本数の減少といった利便性低下につながる措置がなされる可能性も否定できない。
- ・一部地域では校区センターが主体となり、校区内を対象に高齢者等の日常的な買い物や通院等の移動サービスを実施している。

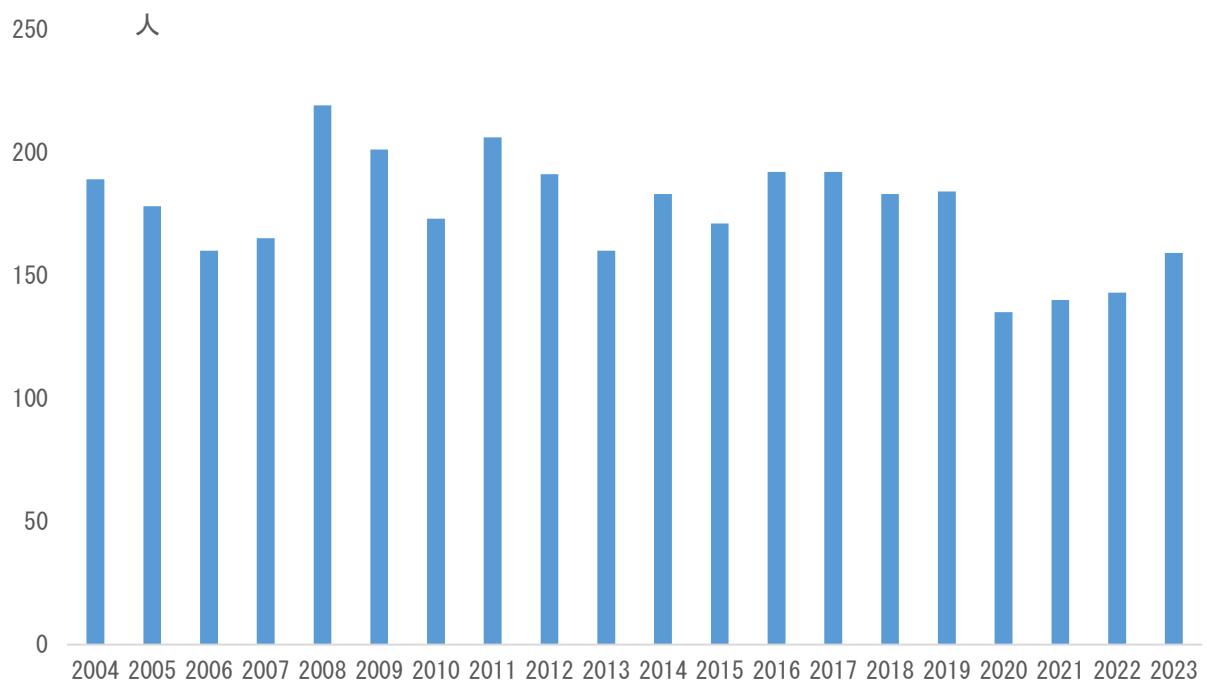
＜西鉄甘木線各駅の乗降客数の推移＞



(単位：人)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
大堰駅	461	452	447	437	394	379	366	363	396	391
本郷駅	471	469	487	474	435	419	423	418	392	398
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
大堰駅	387	393	383	346	355	359	299	302	343	367
本郷駅	381	393	395	356	361	363	339	345	392	377

＜甘木鉄道西太刀洗駅の一日平均乗車人員数の推移＞



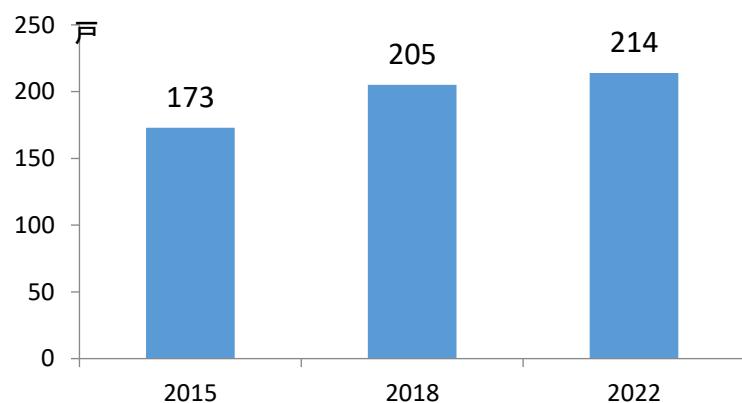
(単位：人)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
西太刀洗駅	189	178	160	165	219	201	173	206	191	160
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
西太刀洗駅	183	171	192	192	183	184	135	140	143	159

#### d) 空き家の増加

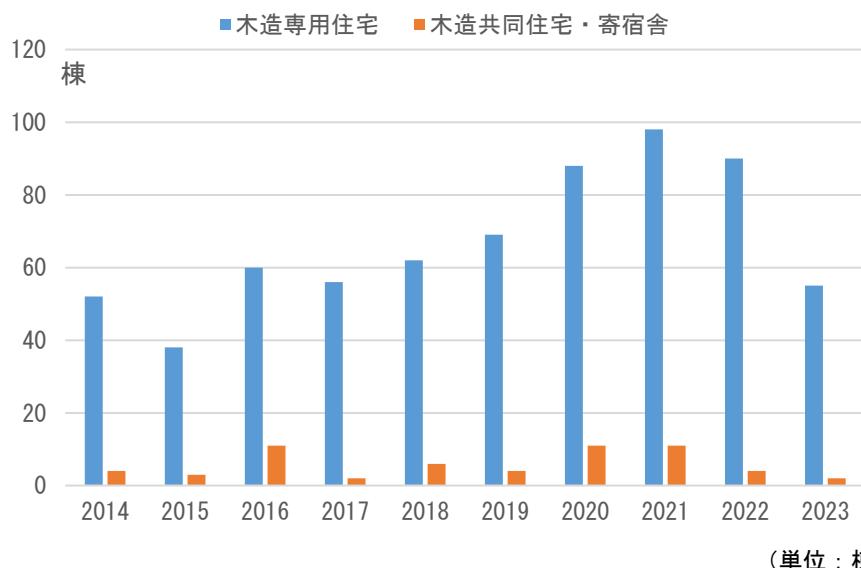
- ・大刀洗町内における空き家の数は、2016（平成28）年では173軒から2021（令和3）年では214軒へ増加しており、今後も増加することが予測される。
- ・一方で、戸建てやアパート等の新增築物件の棟数は、近年増加傾向にあるため空き家になっている物件で利用が可能なものについては利活用を進めるなどの取組みが必要である。

＜空き家の数の推移（年度）＞



（出典）住民課調査

＜新增分の家屋（木造専用住宅等）の推移＞



（単位：棟）

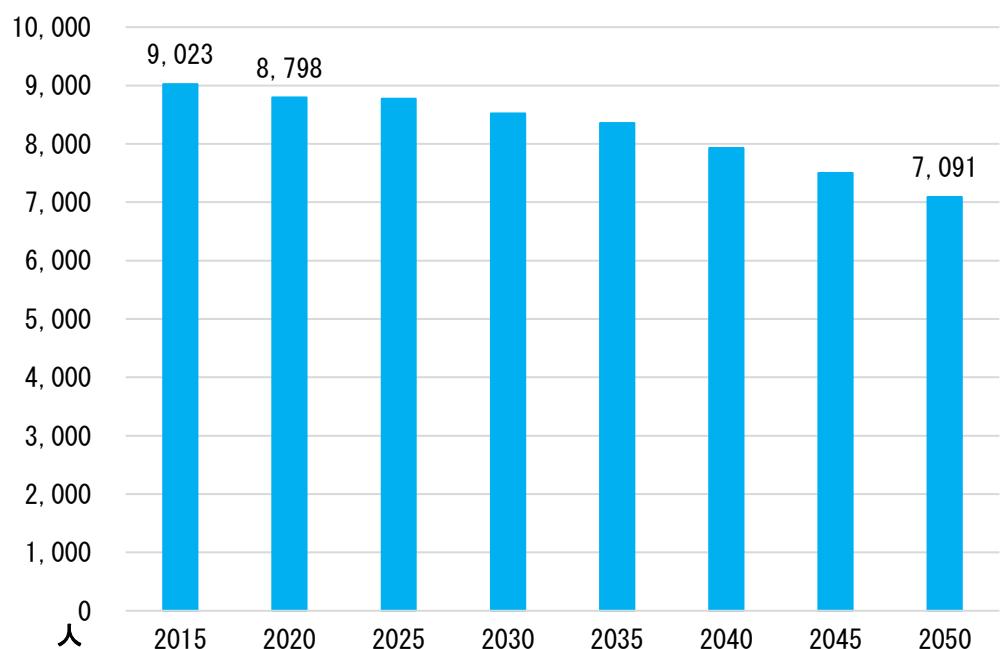
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
木造専用住宅	52	38	60	56	62	69	88	98	90	55
木造共同住宅・寄宿舎	4	3	11	2	6	4	11	11	4	2

（出典）税務課調査 ※各年度、前年度の1月2日～当年度の1月1日までを集計

## 2) 産業・人材

- ・人口の減少にともない、専門的人材の不足や後継者の不足が顕在化すると考えられる。また、生産年齢人口は、2020（令和2）年の8,798人から2050（令和32）年には7,091人になると推計されており、長期的には町内全体で労働力不足が懸念される。

＜生産年齢人口の推計（実績）＞



（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
生産年齢人口 (15~64歳)	9,023	8,798	8,772	8,519	8,359	7,928	7,501	7,091

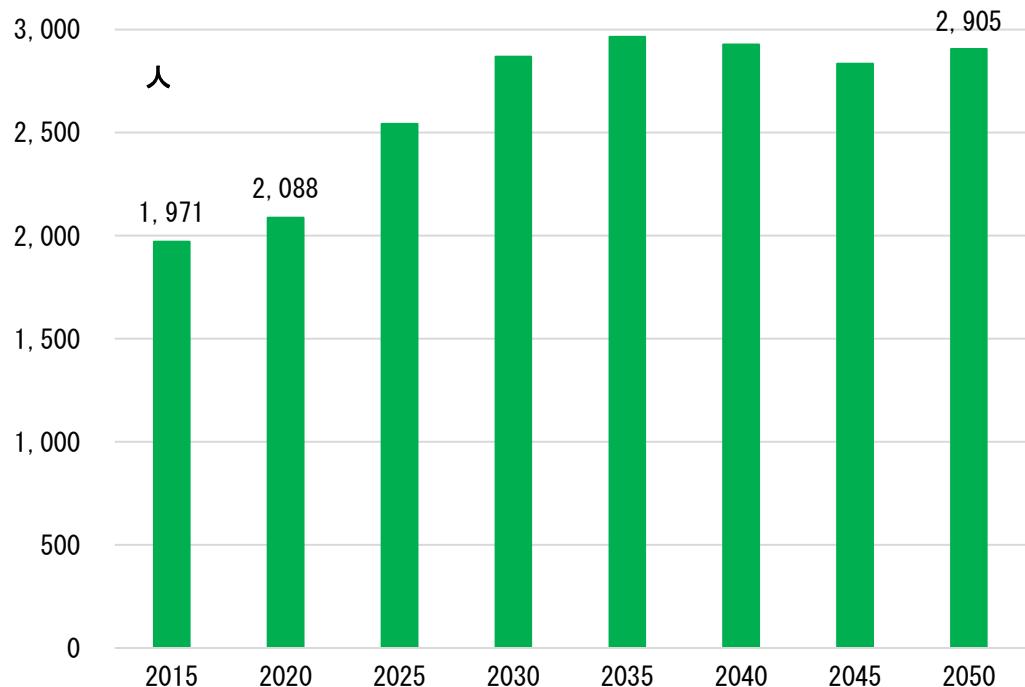
（出典）2020（令和2）年以前は、総務省「国勢調査」の実績値

2025（令和7）年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値

### 3) 医療福祉・社会保障

- ・高齢者の長寿化による 75 歳以上の後期高齢者数の増加にともない、社会保障費用のさらなる増加が予測される。大刀洗町においても、2020（令和2）年に 2,088 人だった後期高齢者が、2050（令和32）年には 2,905 人に増加することが見込まれている。

＜後期高齢者数の推計（実績）＞



（単位：人）

	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年
後期高齢人口 (75 歳以上)	1,971	2,088	2,543	2,868	2,965	2,927	2,835	2,905

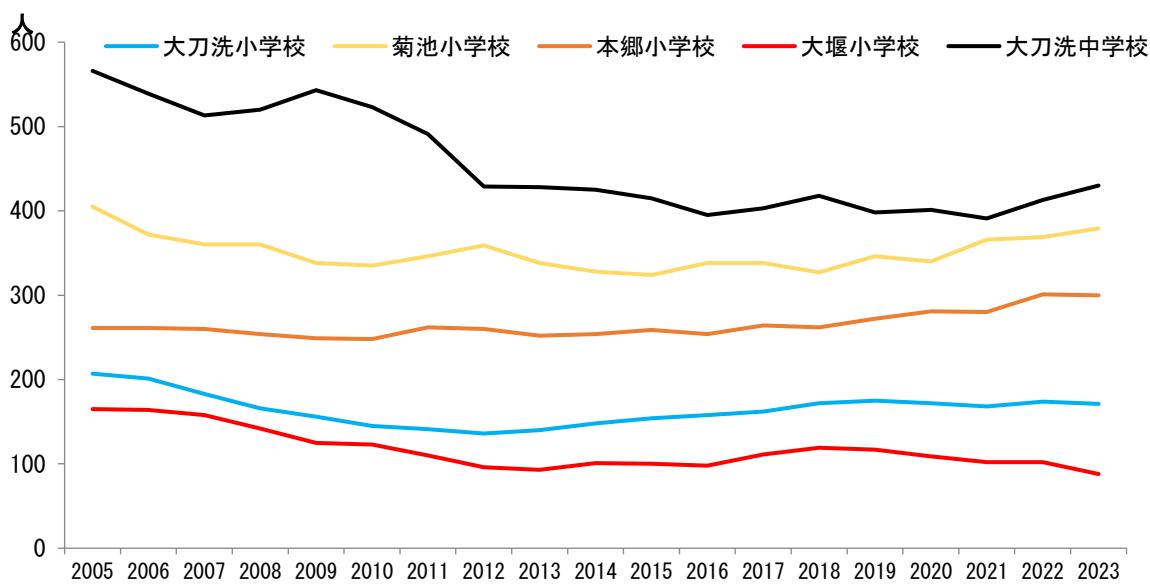
（出典）2020（令和2）年は、総務省「国勢調査」の実績値

2025（令和7）年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値

#### 4) 子育て・教育

- ・近隣に学校や保育園があることは定住するうえでの重要なポイントとなるが、子どもの数が減少することで、学校の小規模化や、保育園の運営等に影響を与える恐れがある。
- ・小学校や保育園等の児童数は、各学校（園）によって差異はあるものの、近年増加傾向にある一方で、中学校の生徒数は増減傾向にある。

＜小・中学校の児童・生徒数の推移＞



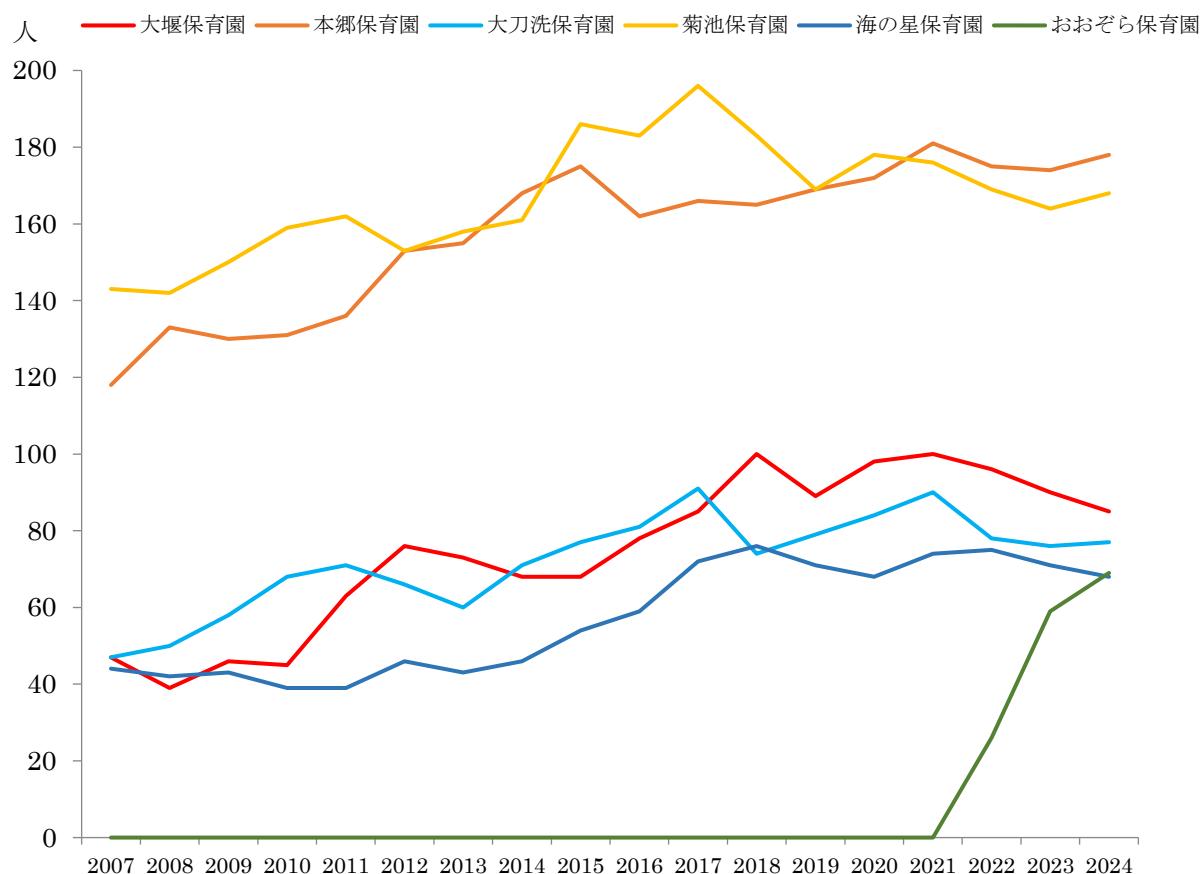
（単位：人）

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
大堰小学校	165	164	158	142	125	123	110	96	93	101
本郷小学校	261	261	260	254	249	248	262	260	252	254
大刀洗小学校	207	201	183	166	156	145	141	136	140	148
菊池小学校	405	372	360	360	338	335	346	359	338	328
合計	1,038	998	961	922	868	851	859	851	823	831
大刀洗中学校	566	539	513	520	543	523	491	429	428	425

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
大堰小学校	100	98	111	119	117	109	102	102	88	103
本郷小学校	259	254	264	262	272	281	280	301	300	303
大刀洗小学校	154	158	162	172	175	172	168	174	171	162
菊池小学校	324	338	338	327	346	340	366	369	379	397
合計	837	848	875	880	910	902	916	946	938	965
大刀洗中学校	415	395	403	418	398	401	391	413	430	452

（出典）子ども課調査 ※5月1日時点

### ＜保育所（園）の児童数の推移＞



(単位：人)

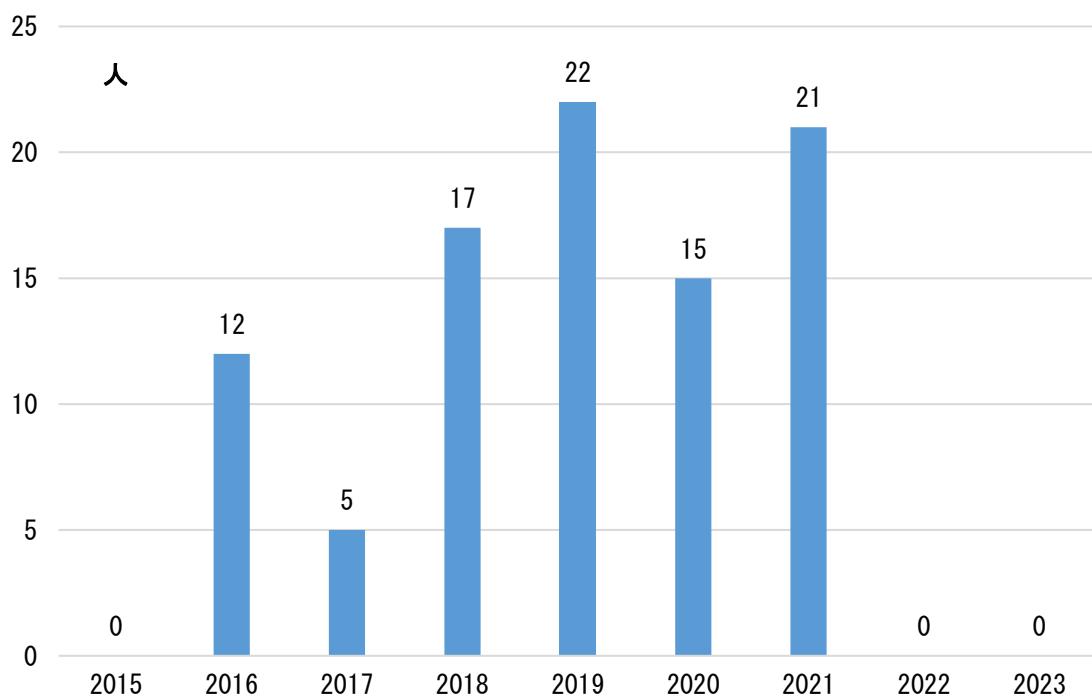
	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
大堰保育園	47	39	46	45	63	76	73	68	68
本郷保育園	118	133	130	131	136	153	155	168	175
大刀洗保育園	47	50	58	68	71	66	60	71	77
菊池保育園	143	142	150	159	162	153	158	161	186
海の星保育園	44	42	43	39	39	46	43	46	54
おおぞら保育園	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	399	406	427	442	471	494	489	514	560

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
大堰保育園	78	85	100	89	98	100	96	90	85
本郷保育園	162	166	165	169	172	181	175	174	178
大刀洗保育園	81	91	74	79	84	90	78	76	77
菊池保育園	183	196	183	169	178	176	169	164	168
海の星保育園	59	72	76	71	68	74	75	71	68
おおぞら保育園	—	—	—	—	—	—	26	59	69
合計	563	610	598	577	600	621	619	634	645

(出典) 子ども課調査 ※4月1日時点

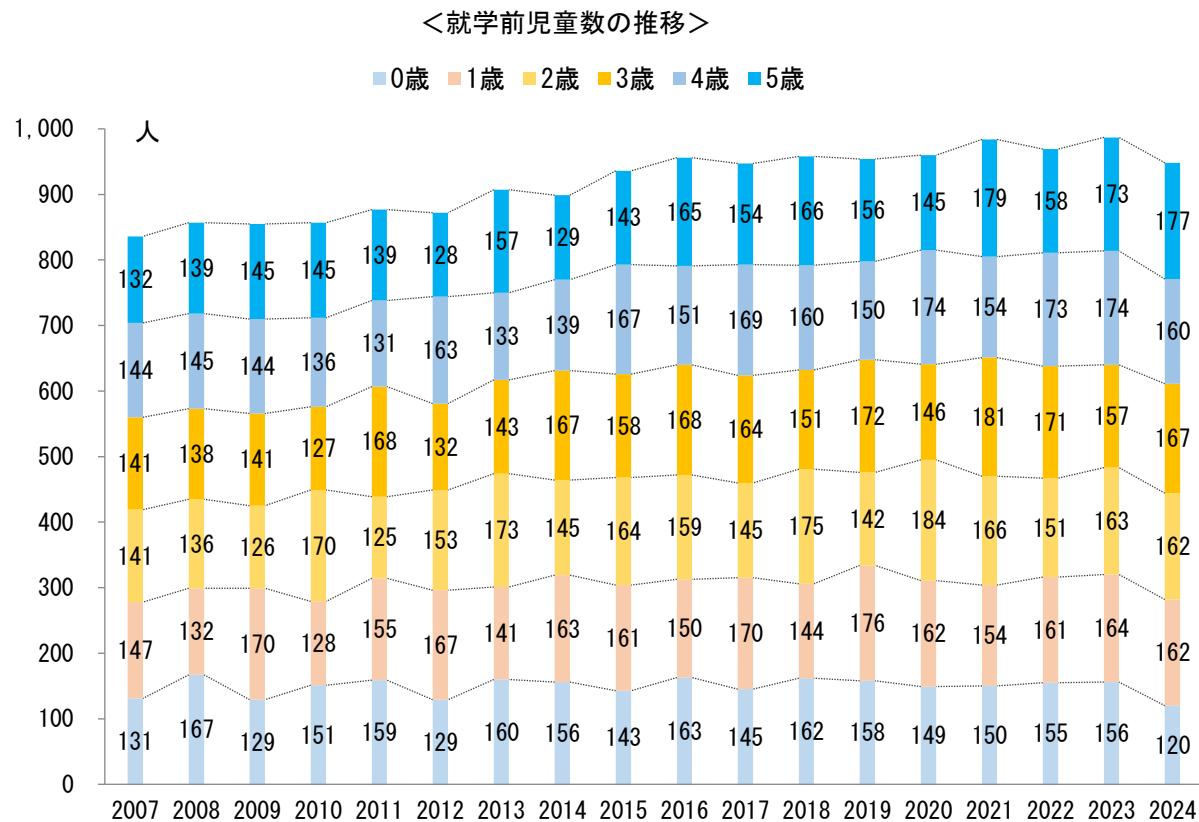
＜保育所（園）の待機児童数の推移＞



（単位：人）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
待機児童数	0	12	5	17	22	15	21	0	0	0

（出典）子ども課調査 ※4月1日時点



	(単位：人)									
	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	
0歳	131	167	129	151	159	129	160	156	143	
1歳	147	132	170	128	155	167	141	163	161	
2歳	141	136	126	170	125	153	173	145	164	
3歳	141	138	141	127	168	132	143	167	158	
4歳	144	145	144	136	131	163	133	139	167	
5歳	132	139	145	145	139	128	157	129	143	
合計	836	857	855	857	877	872	907	899	936	

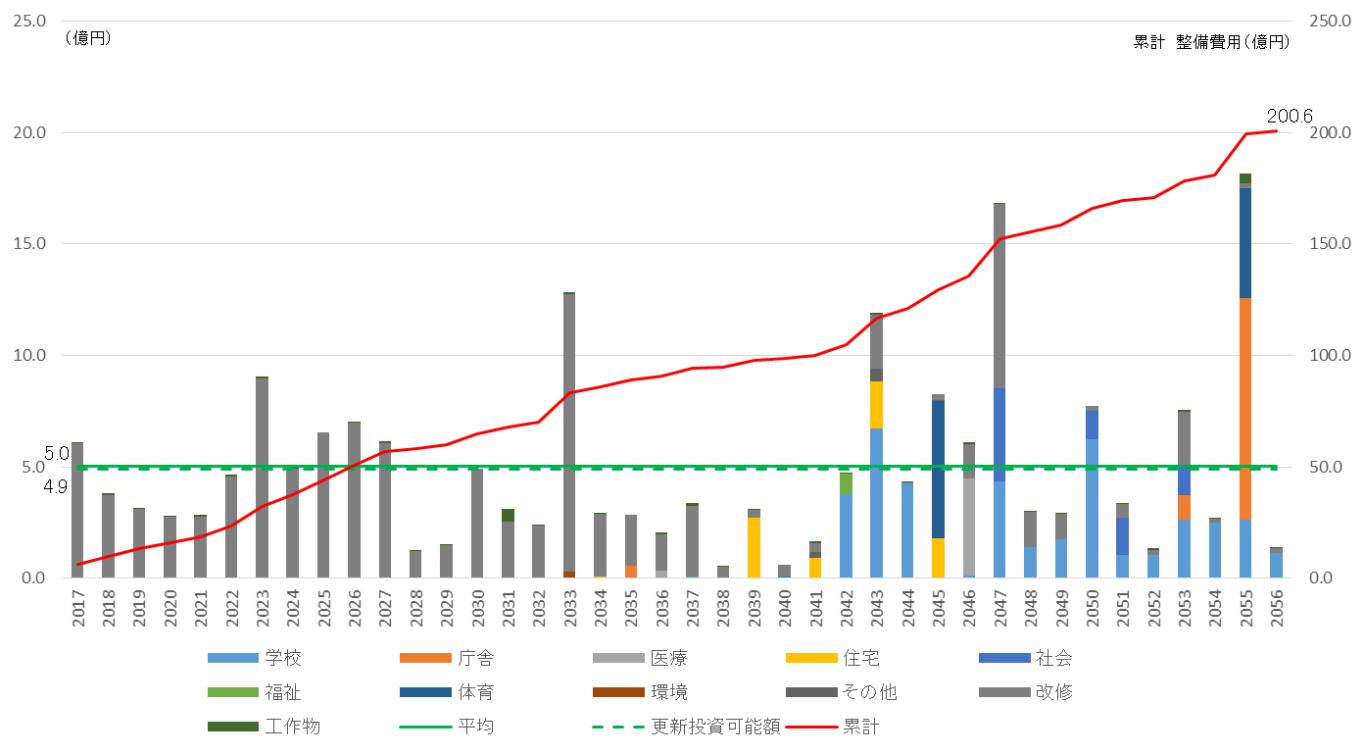
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
0歳	163	145	162	158	149	150	155	156	120
1歳	150	170	144	176	162	154	161	164	162
2歳	159	145	175	142	184	166	151	163	162
3歳	168	164	151	172	146	181	171	157	167
4歳	151	169	160	150	174	154	173	174	160
5歳	165	154	166	156	145	179	158	173	177
合計	956	947	958	954	960	984	969	987	948

(出典) 子ども課調査 ※4月1日時点

## 5) 行政・財政

- ・人口減少とともに経済・産業活動の縮小によって、税収が減少すると、町民が満足できる行政サービスを提供できなくなる恐れがある。併せて、生活の利便性が低下することで定住意欲を減少させ、更なる人口減少に繋がるという人口の負のスパイラルが生じる恐れがある。
- ・またそれによって公共施設や道路・橋・下水道といったインフラの老朽化問題への対応も問題となる。

＜公共施設の適正化を踏まえた将来更新投資額の試算の推移＞



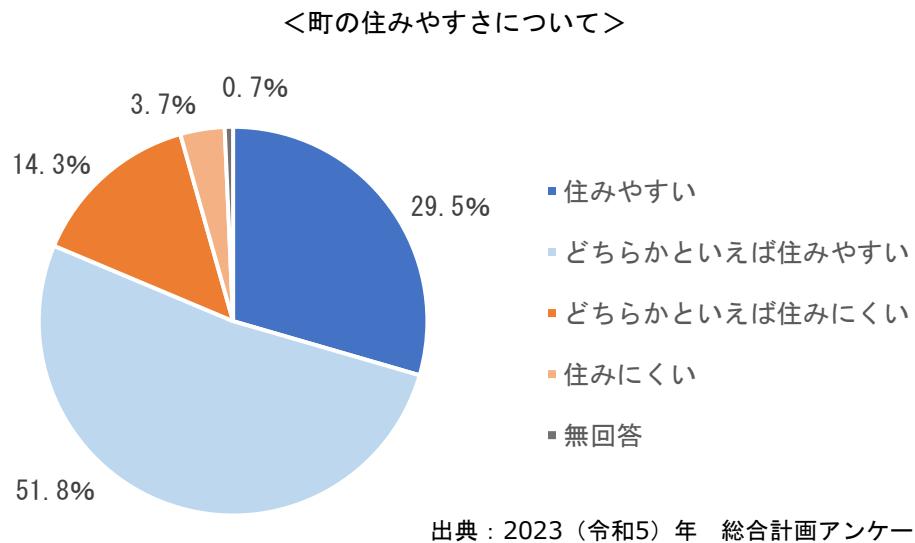
（出典）企画財政課「大刀洗町公共施設総合管理計画」

## （5）目指すべき方向性

### 1) 住民の意識調査

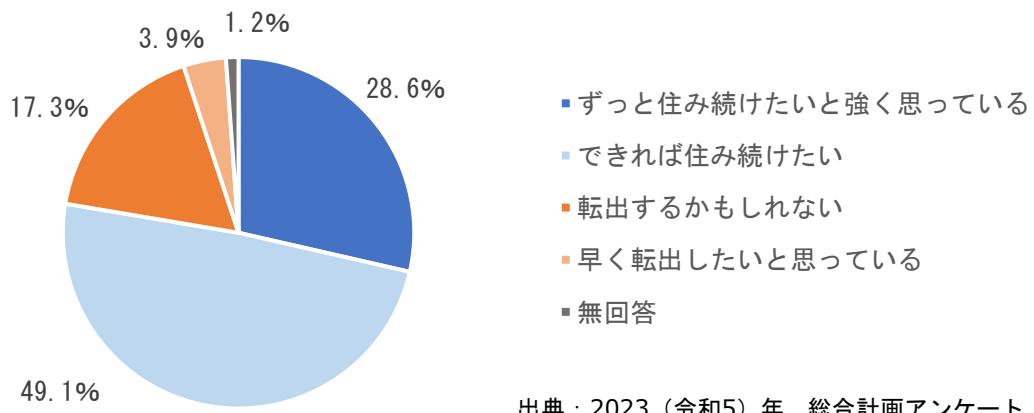
#### a) 住みやすさ

- ・大刀洗町の住みやすさについては「どちらかといえば住みやすい」（51.8%）が最も多く、次いで「住みやすい」（29.5%）、「どちらかといえば住みにくい」（14.3%）、「住みにくい」（3.7%）と続く。
- ・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると 81.3%となり大半の方が大刀洗町を住みやすい町と感じている。



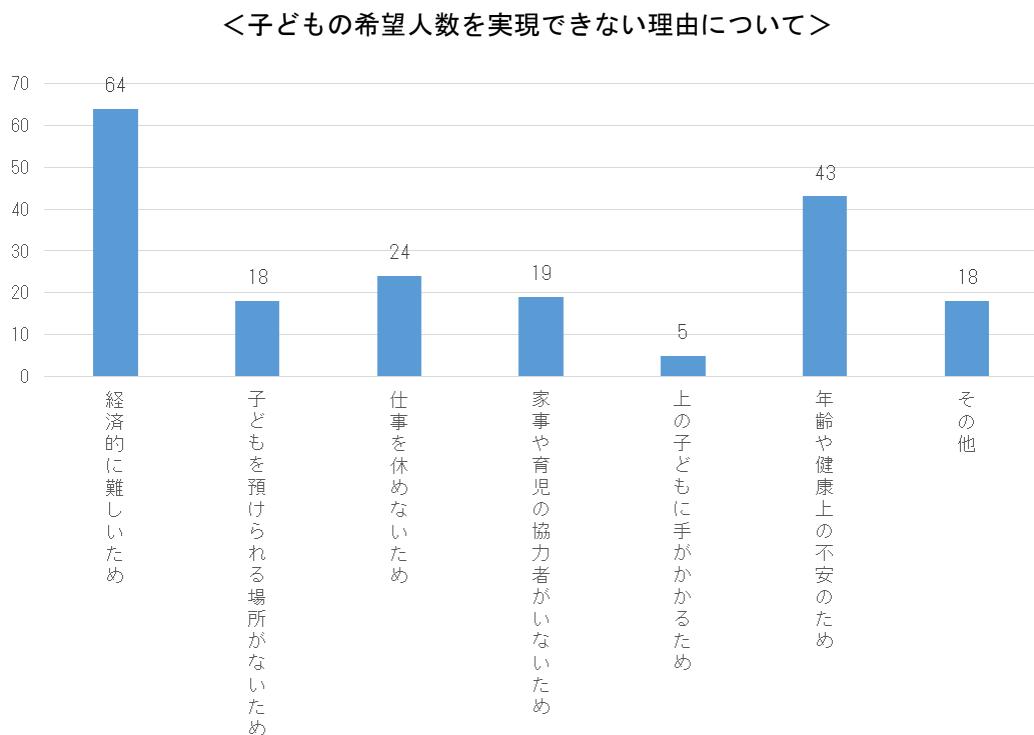
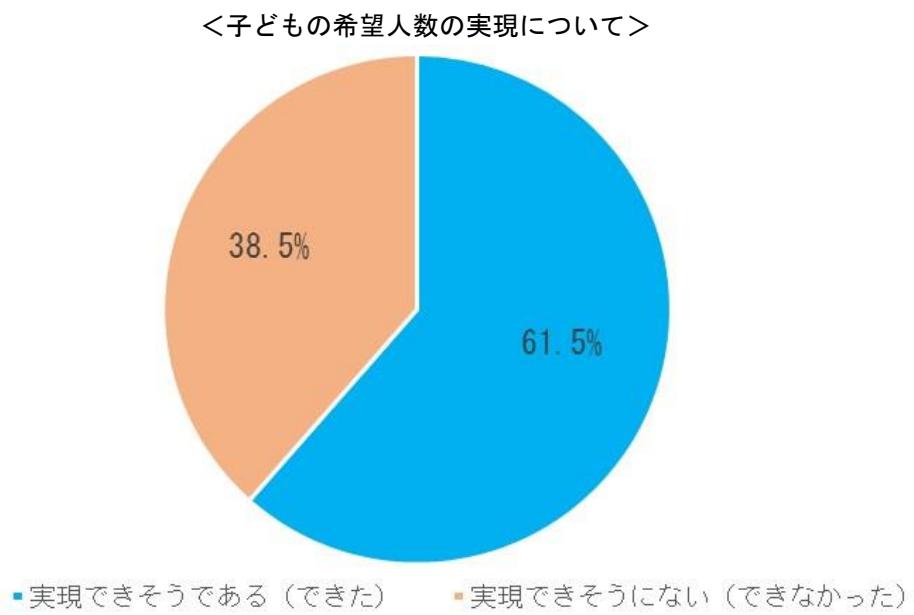
#### b) 定住意向

- ・定住意向については「できれば住み続けたい」（49.1%）が最も多く、次いで「ずっと住み続けたいと強く思っている」（28.6%）、「転出するかもしれない」（17.3%）、「早く転出したいと思っている」（3.9%）と続く。
- ・「ずっと住み続けたいと強く思っている」と「できれば住み続けたい」を合わせると 77.7%となり大半の方が大刀洗町を住みやすい町と感じている。



### c) 出産

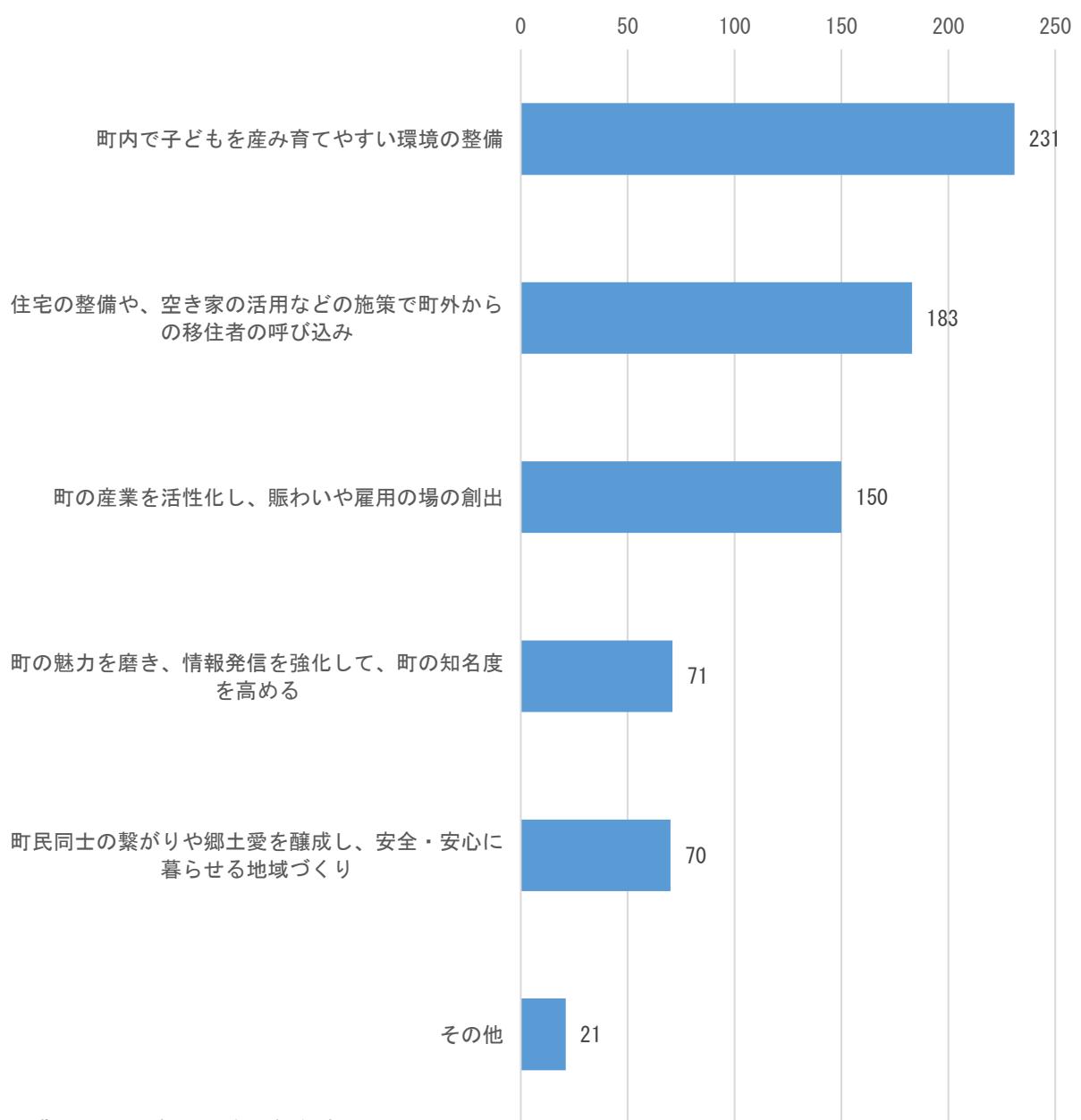
・子どもの希望人数の実現については、約4割の人が「希望人数が実現できそうにない（できなかった）」と回答しており、その理由として、「経済的に難しいため」、「年齢や健康上の不安のため」、「仕事を休めないため」が挙げられている。



#### d) 施策の展開

- ・人口減少への対応のために有効だと考えられる取組みについては、「町内で子どもを産み育てやすい環境の整備」が最も多く、次いで「住宅の整備や、空き家の活用などの施策で町外からの移住者の呼び込み」、「町内の産業を活性化し、賑わいや雇用の場の創出」、「町の魅力を磨き、情報発信を強化して、町の知名度を高める」と続いている。町民ニーズとしては、より一層の子育て支援の充実に加え、住宅の整備等による移住者の呼び込みが求められている。

＜人口減少への対応に有効だと考える取り組みについて＞



出典：2023（令和5）年 総合計画アンケート

## 2) 人口動態の将来展望

### a) 目指すべき姿

将来展望を行うにあたり、「活力ある地域コミュニティの維持」を目指すべき姿とし、2060（令和42）年までの人口動態の推計を行う。

### b) 独自推計（2024）にあたっての考え方

大刀洗町では2015（平成27）年度に大刀洗町人口ビジョンを策定し、人口動態の将来展望、目標人口を示した。（以下、独自推計（2015）という。）

その際の「活力ある地域コミュニティの維持」のために「地域に子どもが一定数いて、健やかに成長できること」を構成要素のひとつとしてあげ、2040（令和22）年においても、各小学校120人以上を維持※するために必要な出生率（＝出生率の目標）を試算し、その場合の人口動態を推計した。

### 独自推計（2015）

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.55	1.555	1.60	1.65	1.70	1.80	1.90	1.95	2.00	2.00	2.00
目標人口	15,284	15,138	14,943	14,715	14,453	14,171	13,854	13,509	13,180	12,870	12,570

※1「多自然町村の持続可能モデルに関する調査研究報告書」（総務省2013.3）抜粋

『地域が持続・維持するための人口の仮説として、地域の中に小学校が最低1校で生徒数が120人以上（各学年20人以上を仮定）を維持できる人数を設定』

※2 ※1の「地域」を、大刀洗町における現在の小学校区と読み替える。

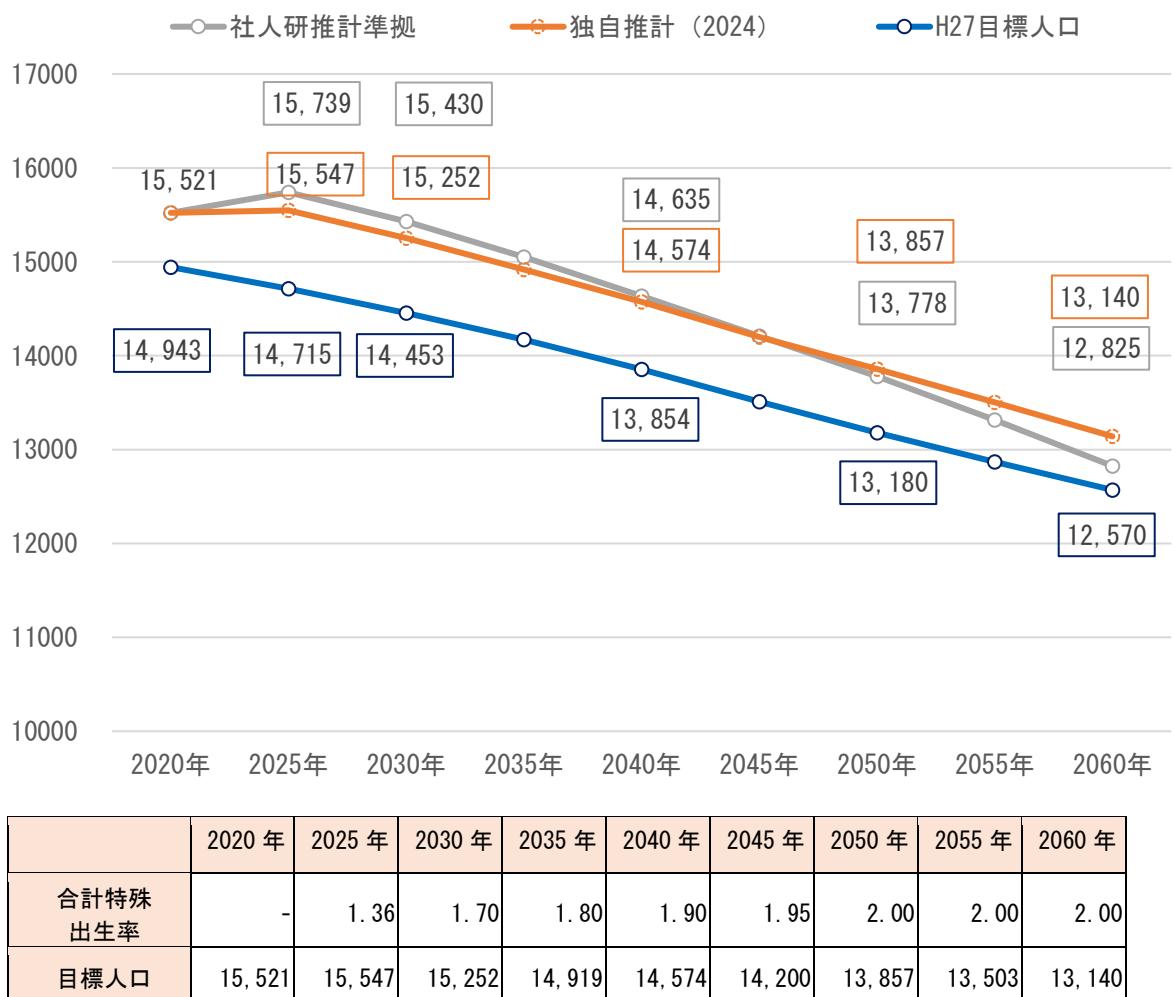
2020（令和2）年国勢調査をもとに国立社会保障・人口問題研究所の示した2023（令和5）推計人口は、2030年で約970人、2040年で約780人、独自推計（2015）の目標人口の推計を上回っており、現状との乖離が生じていた。

そこで、国提供のワークシートを活用し、新たに独自推計を行った。

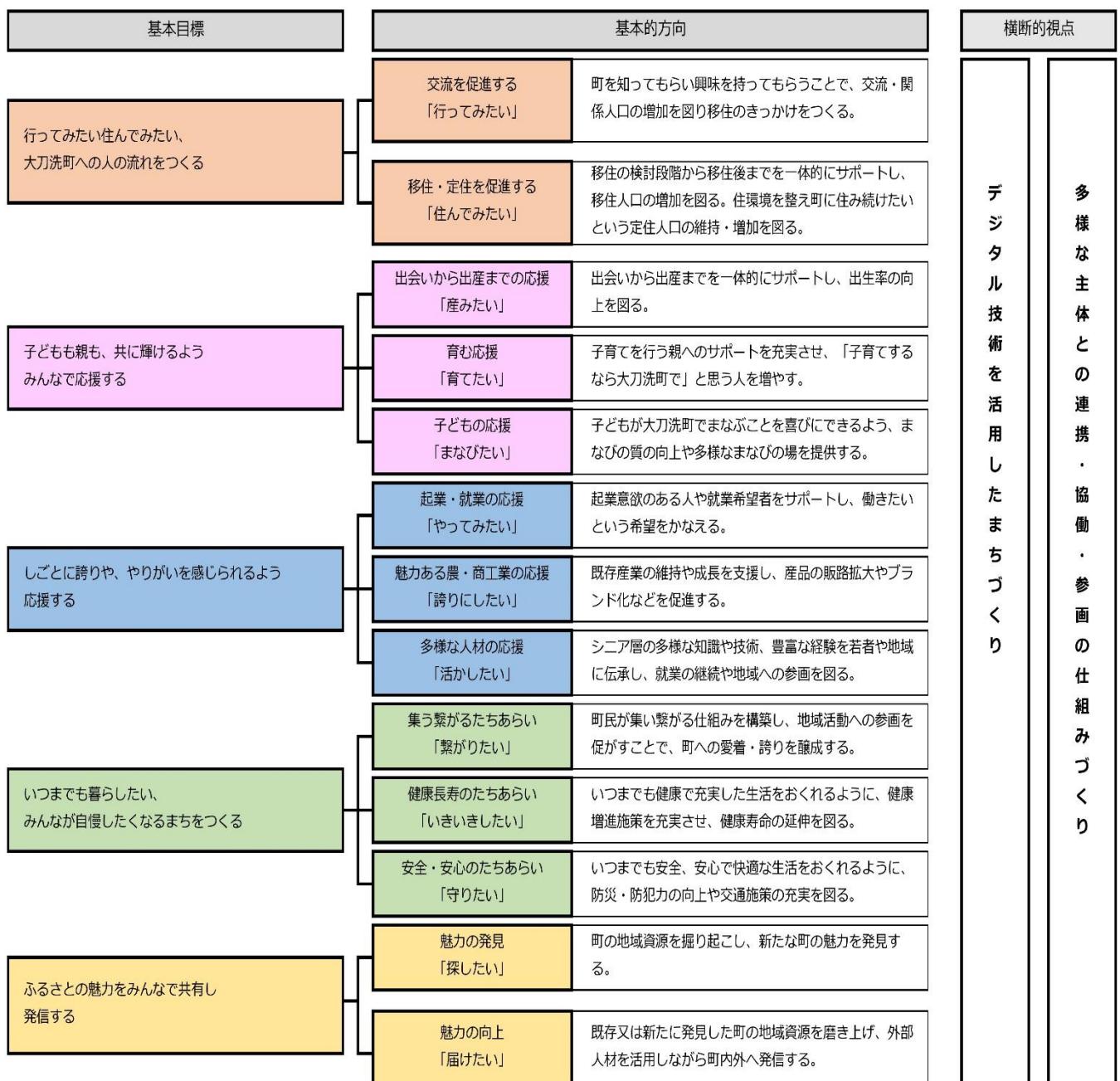
### c) 将来の展望

新たな独自推計では2020（令和2）年国勢調査や概ね過去5年間（2019-2025）の人口動態や独自推計（2015）を踏まえた次のとおり仮定を設定し、将来人口を展望する。

自然増減に関する仮定	独自推計（2015）で示した出生率の目標を将来の出生率として仮定した。なお、2025年の合計特殊出生率は直近値（2023年）である1.36とした。
社会増減に関する仮定	2020年—2025年は社人研推計の移動率で推移し、2025年以降、社会増減は均衡すると仮定した。



### 3) 目指すべき将来の方向性



デジタル技術を活用したまちづくり

多様な主体との連携・協働・参画の仕組みづくり

# **大刀洗町人口ビジョン**

令和7年3月改定（案）

大刀洗町 企画財政課

T E L (0942) 77-0355 F A X (0942) 77-3063

U R L <http://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/>